

授業名	英語 I ua	開講学年	1回生	単位数	1単位
英文名	English I	開講時期	春学期	必修・選択	必修
担当者	奥 尚子	対象学生	現代家政1回生		
授業の概要	演習形式の授業を通して、リーディング、リスニング、スピーキング、ライティングの4領域において総合的な英語力の基礎をバランスよく習得する。予習をしていることを前提にテキストの内容確認と練習問題をやる。				
学習成果到達目標	1) 英語基本5文型を中心とした基本的知識を獲得することができる。 2) テキストについているCDのnative speakerの話し方を模倣し、英語のアクセント・リズム・ピッチを反復練習することで発音が正確にできるようになる。 3) 英語四技能を段階的に修得することができる。				
評価方法	定期試験 (60%) <input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技	平常試験 (40%) <input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input checked="" type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技			
評価基準	主たる評価の観点	<input checked="" type="checkbox"/> 知識・理解 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題発見・解決能力 <input type="checkbox"/> ( ) <input type="checkbox"/> ( )			
テキスト	『Journey to Success』 倉田誠・Todd Thorpe・三村仁彦 著 (桐原書店)				
参考書	使用しない。				
留意事項	授業前には必ず、単語の意味を調べてくること。予習復習をしっかりと行うこと。辞書を持参すること。全授業の1/3以上の欠席は定期試験の受験を認めない。また、演習授業のため30分以上の遅刻は欠席扱いとする。				
授業計画	学習項目		学習内容・課題		
第1回	Introduction		(内 容) 授業の学習計画を立てる。 (必要な準備) 本授業のシラバスを読む。教科書を事前に必ず購入し目を通しておくこと。		
第2回	Unit1: Departure / Arrival (入国審査/通関/両替)		(内 容) pp. 7~12 (必要な準備) pp. 7~12の単語調べ、会話表現練習		
第3回	Unit1: Departure / Arrival (入国審査/通関/両替)		(内 容) pp. 7~12 (必要な準備) pp. 7~12の単語調べ、会話表現練習		
第4回	Unit2: Homestay (ホストファミリーとの会話)		(内 容) pp. 13~18 (必要な準備) pp. 13~18の単語調べ、会話表現練習		
第5回	Unit2: Homestay (ホストファミリーとの会話)		(内 容) pp. 13~18 (必要な準備) pp. 13~18の単語調べ、会話表現練習		
第6回	Unit3: Telephone (電話のかけ方/電話の取り次ぎ)		(内 容) pp. 19~24 (必要な準備) pp. 19~24の単語調べ、会話表現練習		
第7回	Unit3: Telephone (電話のかけ方/電話の取り次ぎ)		(内 容) pp. 19~24 (必要な準備) pp. 19~24の単語調べ、会話表現練習		
第8回	Review1 小テスト(Unit1~3単語テスト)		(内 容) Unit1~3の復習 (必要な準備) 小テストのための家庭学習		
第9回	Unit4: Shopping (店員との会話)		(内 容) pp. 25~30 (必要な準備) pp. 25~30の単語調べ、会話表現練習		
第10回	Unit4: Shopping (店員との会話)		(内 容) pp. 25~30 (必要な準備) pp. 25~30の単語調べ、会話表現練習		
第11回	Unit5: Getting around (切符の買い方/道の聞き方)		(内 容) pp. 31~36 (必要な準備) pp. 31~36の単語調べ、会話表現練習		
第12回	Unit5: Getting around (切符の買い方/道の聞き方)		(内 容) pp. 31~36 (必要な準備) pp. 31~36の単語調べ、会話表現練習		
第13回	Unit6: Eating out (予約の仕方/注文の仕方)		(内 容) pp. 37~42 (必要な準備) pp. 37~42の単語調べ、会話表現練習		
第14回	Unit6: Eating out (予約の仕方/注文の仕方)		(内 容) pp. 37~42 (必要な準備) pp. 37~42の単語調べ、会話表現練習		
第15回	Review 2 小テスト(Unit1~3単語テスト)		(内 容) Unit 4~6 までの復習 (必要な準備) 小テストのための家庭学習		
オフィスアワー	火曜日 10時30分~11時30分				

授業名	英語 I ub	開講学年	1回生	単位数	1単位
英文名	English I	開講時期	春学期	必修・選択	必修
担当者	和田 未穂子	対象学生	現代家政1回生		
授業の概要	演習形式の授業を通して、リーディング、リスニング、スピーキング、ライティングの4領域において総合的な英語力の基礎をバランスよく習得する。予習をしていることを前提にテキストの内容確認と練習問題をやる。				
学習成果到達目標	1) TOEIC Test の出題形式に慣れながら英語基本 5 文型を中心とした基本的知識を獲得することができる。 2) テキストについている CD の native speaker の話し方を模倣し、英語のアクセント・リズム・ピッチを反復練習することで発音が正確にできるようになる。 3) 英語四技能を段階的に修得することができる。				
評価方法	定期試験 ( 60 % ) <input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技	平常試験 ( 40 % ) <input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input checked="" type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技			
評価基準	主たる評価の観点	<input checked="" type="checkbox"/> 知識・理解 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション能力 <input type="checkbox"/> 課題発見・解決能力 <input checked="" type="checkbox"/> ( 語彙力 ) <input type="checkbox"/> ( )			
テキスト	『Stepping Stones for the TOEIC Test』 Shogo Mitsutomi 他 (Asahi Press )				
参考書	使用しない。				
留意事項	授業前には必ず、単語の意味を調べてくること。予習復習をしっかりと行うこと。辞書を持参すること。本授業では、全授業の 1/3 以上の欠席は認めない。また、演習授業のため 30 分以上の遅刻は欠席扱いとする。				
授業計画	学習項目		学習内容・課題		
第1回	Introduction Unit 1 TOEIC Test 出題形式および傾向と対策の説明		(内 容) 授業の学習計画を立てる。 (必要な準備) 本授業のシラバスを読む。教科書を事前に必ず購入し目を通しておくこと。		
第2回	Unit 2 : Travel & Airports		(内 容) pp. 10-15 (必要な準備) pp. 10-15 の単語調べ、Part 5~Part7 までの予習		
第3回	Unit 3 : Sightseeing & Hotels		(内 容) pp. 16-21 (必要な準備) pp. 16-21 の単語調べ、Part 5~Part7 までの予習		
第4回	Unit 4 : Dining & Restaurants		(内 容) pp. 22-27 (必要な準備) pp. 22-27 の単語調べ、Part 5~Part7 までの予習		
第5回	Unit 5 : Sports & Entertainment		(内 容) pp. 28-33 (必要な準備) pp. 28-33 の単語調べ、Part 5~Part7 までの予習		
第6回	Unit 6 : Fashion & Shopping		(内 容) pp.34-39 (必要な準備) pp.34-39 の単語調べ、Part 5~Part7 までの予習		
第7回	Unit 7 :School & Culture		(内 容) pp.40-45 (必要な準備) pp.40-45 の単語調べ、Part 5~Part7 までの予習		
第8回	Unit 8: Review Test 1		(内 容) (必要な準備) Unit 1~7 までの復習をしておくこと。		
第9回	Unit 9: Transportation & Commuting		(内 容) pp.54-59 (必要な準備) pp.54-59 の単語調べ、Part 5~Part7 までの予習		
第10回	Unit 10: Family & Home		(内 容) pp.60-65 (必要な準備) pp.60-65 の単語調べ、Part 5~Part7 までの予習		
第11回	Unit 11: Computers & the Internet		(内 容) pp.66-71 (必要な準備) pp.66-71 の単語調べ、Part 5~Part7 までの予習		
第12回	Unit 12 : Offices & Office Supplies		(内 容) pp.72-77 (必要な準備) pp.72-77 の単語調べ、Part 5~Part7 までの予習		
第13回	Unit 13 : Jobs & Recruitment		(内 容) (必要な準備) pp.78-83 の単語調べ、Part 5~Part7 までの予習		
第14回	Unit 14: Business, Accounting & Banking		(内 容) (必要な準備) pp.84-89 の単語調べ、Part 5~Part7 までの予習		
第15回	Review		(内 容) (必要な準備) Unit 9~14 までの復習をしておくこと。		
オフィスアワー	担当授業終了後に実施する。				

授業名	英語 I uc	開講学年	1回生	単位数	1単位
英文名	English I	開講時期	春学期	必修・選択	必修
担当者	和田 未穂子	対象学生	食物栄養 1回生		
授業の概要	演習形式の授業を通して、リーディング、リスニング、スピーキング、ライティングの4領域において総合的な英語力の基礎をバランスよく習得する。予習をしていることを前提にテキストの内容確認と練習問題をやる。				
学習成果到達目標	1) 英語基本5文型を中心とした基本的知識を獲得することができる。 2) テキストについている English Central を利用して native speaker の話し方を模倣し、英語のアクセント・リズム・ピッチを反復練習することで発音が正確にできるようになる。 3) 英語四技能を段階的に修得することができる。				
評価方法	定期試験 (60%) <input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技	平常試験 (40%) <input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input checked="" type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技			
評価基準	主たる評価の観点	<input checked="" type="checkbox"/> 知識・理解 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション能力 <input type="checkbox"/> 課題発見・解決能力 <input checked="" type="checkbox"/> (語彙力) <input type="checkbox"/> ( )			
テキスト	『VOA News Plus』 Seisuke Yasunami 他 (SEIBIDO) / Listening Trainer for English Communication Shukei Funada 他 (NAN'UN-DO)				
参考書	使用しない。				
留意事項	授業前には必ず、単語の意味を調べてくること。予習復習をしっかりと行うこと。辞書を持参すること。本授業では、全授業の1/3以上の欠席は認めない。また、演習授業のため30分以上の遅刻は欠席扱いとする。				
授業計画	学習項目		学習内容・課題		
第1回	Introduction		(内 容) 授業の学習計画を立てる。 (必要な準備) 本授業のシラバスを読む。教科書を事前に必ず購入し目を通し持ってくる。		
第2回	Unit 1 : Kimchi in Space		(内 容) pp. 1-4 (必要な準備) pp. 1-3 の単語調べ、Listening 箇所の予習		
第3回	Unit 1 : Kimchi in Space		(内 容) pp. 2-6 (必要な準備) Listening の内容を把握し、Summary までの予習		
第4回	Unit 2 : Is Ginkgo Biloba Effective?		(内 容) pp. 7-9 (必要な準備) pp. 7-9 の単語調べ、Listening 箇所の予習		
第5回	Unit 2 : Is Ginkgo Biloba Effective?		(内 容) pp. 8-12 (必要な準備) Listening の内容を把握し、Summary までの予習		
第6回	Unit 3 : Our Best Friends Understand Us !		(内 容) pp. 13-15 (必要な準備) pp. 13-15 の単語調べ、Listening 箇所の予習		
第7回	Unit 3 : Our Best Friends Understand Us !		(内 容) pp.14 - 18 (必要な準備) Listening の内容を把握し、Summary までの予習		
第8回	Review		(内 容) 英語耳を鍛えるリスニング (必要な準備) リスニング箇所の復習		
第9回	Unit 4: Gaming Online		(内 容) pp. 19-21 (必要な準備) pp. 19-21 の単語調べ、Listening 箇所の予習		
第10回	Unit 4: Gaming Online		(内 容) pp. 20 -24 (必要な準備) Listening の内容を把握し、Summary までの予習		
第11回	Unit 5: Overtaken by China		(内 容) pp. 25-27 (必要な準備) pp. 25-27 の単語調べ、Listening 箇所の予習		
第12回	Unit 5 : Overtaken by China		(内 容) pp. 26 -30 (必要な準備) Listening の内容を把握し、Summary までの予習		
第13回	Unit 6 : More Salt with Your Vegetables?		(内 容) pp. 31 -33 (必要な準備) pp. 31-33 の単語調べ、Listening 箇所の予習		
第14回	Unit 6: More Salt with Your Vegetables?		(内 容) pp. 31 -33 (必要な準備) Listening の内容を把握し、Summary までの予習		
第15回	Review		(内 容) テキストの復習 (必要な準備)		
オフィスアワー	担当授業終了後に実施する。				

授業名	英語 I ud	開講学年	1回生	単位数	1単位
英文名	English I	開講時期	春学期	必修・選択	必修
担当者	和田 未穂子	対象学生	食物栄養 1回生		
授業の概要	演習形式の授業を通して、リーディング、リスニング、スピーキング、ライティングの4領域において総合的な英語力の基礎をバランスよく習得する。予習をしていることを前提にテキストの内容確認と練習問題をやる。				
学習成果到達目標	1) 英語基本5文型を中心とした基本的知識を獲得することができる。 2) テキストについて English Central を使用して native speaker の話し方を模倣し、英語のアクセント・リズム・ピッチを反復練習することで発音が正確にできるようになる。 3) 英語四技能を段階的に修得することができる。				
評価方法	定期試験 (60%) <input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技	平常試験 (40%) <input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input checked="" type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技			
評価基準	主たる評価の観点	<input checked="" type="checkbox"/> 知識・理解 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション能力 <input type="checkbox"/> 課題発見・解決能力 <input checked="" type="checkbox"/> (語彙力) <input type="checkbox"/> ( )			
テキスト	『VOA News Plus』 Seisuke Yasunami 他 (SEIBIDO) / Listening Trainer for English Communication Shukei Funada 他 (NAN'UN-DO)				
参考書	使用しない。				
留意事項	授業前には必ず、単語の意味を調べてくること。予習復習をしっかりと行うこと。辞書を持参すること。本授業では、全授業の1/3以上の欠席は認めない。また、演習授業のため30分以上の遅刻は欠席扱いとする。				
授業計画	学習項目		学習内容・課題		
第1回	Introduction		(内 容) 授業の学習計画を立てる。 (必要な準備) 本授業のシラバスを読む。教科書を事前に必ず購入し目を通し持ってくること。		
第2回	Unit 1 : Kimchi in Space		(内 容) pp. 1-4 (必要な準備) pp. 1-3 の単語調べ、Listening 箇所の予習		
第3回	Unit 1 : Kimchi in Space		(内 容) pp. 2-6 (必要な準備) Listening の内容を把握し、Summary までの予習		
第4回	Unit 2 : Is Ginkgo Biloba Effective?		(内 容) pp. 7-9 (必要な準備) pp. 7-9 の単語調べ、Listening 箇所の予習		
第5回	Unit 2 : Is Ginkgo Biloba Effective?		(内 容) pp. 8-12 (必要な準備) Listening の内容を把握し、Summary までの予習		
第6回	Unit 3 : Our Best Friends Understand Us !		(内 容) pp. 13-15 (必要な準備) pp. 13-15 の単語調べ、Listening 箇所の予習		
第7回	Unit 3 : Our Best Friends Understand Us !		(内 容) pp.14 - 18 (必要な準備) Listening の内容を把握し、Summary までの予習		
第8回	Review		(内 容) 英語耳を鍛えるリスニング (必要な準備) リスニング箇所の復習		
第9回	Unit 4: Gaming Online		(内 容) pp. 19-21 (必要な準備) pp. 19-21 の単語調べ、Listening 箇所の予習		
第10回	Unit 4: Gaming Online		(内 容) pp. 20 -24 (必要な準備) Listening の内容を把握し、Summary までの予習		
第11回	Unit 5: Overtaken by China		(内 容) pp. 25-27 (必要な準備) pp. 25-27 の単語調べ、Listening 箇所の予習		
第12回	Unit 5 : Overtaken by China		(内 容) pp. 26 -30 (必要な準備) Listening の内容を把握し、Summary までの予習		
第13回	Unit 6 : More Salt with Your Vegetables?		(内 容) pp. 31 -33 (必要な準備) pp. 31-33 の単語調べ、Listening 箇所の予習		
第14回	Unit 6: More Salt with Your Vegetables?		(内 容) pp. 31 -33 (必要な準備) Listening の内容を把握し、Summary までの予習		
第15回	Review		(内 容) テキストの復習 (必要な準備)		
オフィスアワー	担当授業終了後に実施する。				

授業名	英語Ⅱ ua	開講学年	1回生	単位数	1単位
英文名	EnglishⅡ	開講時期	秋学期	必修・選択	必修
担当者	奥 尚子	対象学生	現代家政1回生		
授業の概要	演習形式の授業を通して、リーディング、リスニング、スピーキング、ライティングの4領域において総合的な英語力の基礎をバランスよく習得する。予習をしていることを前提にテキストの内容確認と練習問題をやる。				
学習成果到達目標	1) 英語基本5文型を中心とした基本的知識を獲得することができる。 2) テキストについているCDのnative speakerの話し方を模倣し、英語のアクセント・リズム・ピッチを反復練習することで発音が正確にできるようになる。 3) 英語四技能を段階的に修得することができる。				
評価方法	定期試験 (60%) <input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技	平常試験 (40%) <input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input checked="" type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技			
評価基準	主たる評価の観点	<input checked="" type="checkbox"/> 知識・理解 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題発見・解決能力 <input checkbox="" type="checkbox/&gt;( ) &lt;input type="/> ( )			
テキスト	『Journey to Success』 倉田誠・Todd Thorpe・三村仁彦 著 (桐原書店)				
参考書	使用しない。				
留意事項	授業前には必ず、単語の意味を調べてくること。予習復習をしっかりと行うこと。辞書を持参すること。全授業の1/3以上の欠席は定期試験の受験を認めない。また、演習授業のため30分以上の遅刻は欠席扱いとする。				
授業計画	学習項目	学習内容・課題			
第1回	Introduction	(内 容) 授業の学習計画を立てる。 (必要な準備) 本授業のシラバスを読む。			
第2回	Unit7: Parties and Celebrations (パーティーでの会話/社交)	(内 容) pp. 45~50 (必要な準備) pp. 45~50の単語調べ、会話表現練習			
第3回	Unit7: Parties and Celebrations (パーティーでの会話/社交)	(内 容) pp. 45~50 (必要な準備) pp. 45~50の単語調べ、会話表現練習			
第4回	Unit8: Hotel (サービスの利用/チェックアウト)	(内 容) pp. 51~56 (必要な準備) pp. 51~56の単語調べ、会話表現練習			
第5回	Unit8: Hotel (サービスの利用/チェックアウト)	(内 容) pp. 51~56 (必要な準備) pp. 51~56の単語調べ、会話表現練習			
第6回	Unit9: Sightseeing (待ち合わせ/入場券の買い方)	(内 容) pp. 57~62 (必要な準備) pp. 57~62の単語調べ、会話表現練習			
第7回	Unit9: Sightseeing (待ち合わせ/入場券の買い方)	(内 容) pp. 57~62 (必要な準備) pp. 57~62の単語調べ、会話表現練習			
第8回	Review1(小テストUnit7~9)	(内 容) Unit7~9の復習 (必要な準備) 小テストのための家庭学習			
第9回	Unit10: Staying healthy (症状の説明/薬品の処方)	(内 容) pp. 63~68 (必要な準備) pp. 63~68の単語調べ、会話表現練習			
第10回	Unit10: Staying healthy (症状の説明/薬品の処方)	(内 容) pp. 63~68 (必要な準備) pp. 63~68の単語調べ、会話表現練習			
第11回	Unit 11: Housing (ルームメートとの会話)	(内 容) pp. 69~74 (必要な準備) pp. 69~74の単語調べ、会話表現練習			
第12回	Unit 11: Housing (ルームメートとの会話)	(内 容) pp. 69~74 (必要な準備) pp. 69~74の単語調べ、会話表現練習			
第13回	Unit12: Studying abroad (学内集設の利用/同級生の会話)	(内 容) pp. 75~80 (必要な準備) pp. 75~80の単語調べ、会話表現練習			
第14回	Unit12: Studying abroad (学内集設の利用/同級生の会話)	(内 容) pp. 75~80 (必要な準備) pp. 75~80の単語調べ、会話表現練習			
第15回	Review2 (小テストUnit10~12)	(内 容) Unit10~12の復習 (必要な準備) 小テストのための家庭学習			
オフィスアワー	火曜日 10時30分~11時30分				

授業名	英語 IIub	開講学年	1回生	単位数	1単位
英文名	English I	開講時期	秋学期	必修・選択	必修
担当者	和田 未穂子	対象学生	現代家政1回生		
授業の概要	演習形式の授業を通して、リーディング、リスニング、スピーキング、ライティングの4領域において総合的な英語力の基礎をバランスよく習得する。予習をしていることを前提にテキストの内容確認と練習問題をやる。				
学習成果到達目標	1) TOEIC Test の出題形式に慣れながら英語基本 5 文型を中心とした基本的知識を獲得することができる。 2) テキストについている CD の native speaker の話し方を模倣し、英語のアクセント・リズム・ピッチを反復練習することで発音が正確にできるようになる。 3) 英語四技能を段階的に修得することができる。				
評価方法	定期試験 ( 60 % ) <input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技	平常試験 ( 40 % ) <input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input checked="" type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技			
評価基準	主たる評価の観点	<input checked="" type="checkbox"/> 知識・理解 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション能力 <input type="checkbox"/> 課題発見・解決能力 <input checked="" type="checkbox"/> ( 語彙力 ) <input type="checkbox"/> ( )			
テキスト	『The Ultimate Approach for the TOEIC Test』 Emiko Matsumoto 他 (SEIBIDO)				
参考書	使用しない。				
留意事項	授業前には必ず、単語の意味を調べてくること。予習復習をしっかりと行うこと。辞書を持参すること。全授業の1/3以上の欠席は認めない。また、演習授業のため30分以上の遅刻は欠席扱いとする。学生の習熟度にあわせて授業するのでシラバスの進捗と異なる場合があります。				
授業計画	学習項目		学習内容・課題		
第1回	Introduction		(内 容) 授業の学習計画を立てる。 (必要な準備) 本授業のシラバスを読む。教科書を事前に必ず購入し目を通しておくこと。		
第2回	Unit 1 : Entertainment		(内 容) pp. 2-9 (必要な準備) pp. 2-9の単語調べ、Part 5~Part7までの予習		
第3回	Unit 2 : Transportation / Airport		(内 容) pp. 10-17 (必要な準備) pp. 10-17の単語調べ、Part 5~Part7までの予習		
第4回	Unit 3 :Technology		(内 容) pp. 18-25 (必要な準備) pp. 18-25の単語調べ、Part 5~Part7までの予習		
第5回	Unit 4 : Housing		(内 容) pp. 26-33 (必要な準備) pp. 26-33の単語調べ、Part 5~Part7までの予習		
第6回	Unit 5 : Sightseeing		(内 容) pp.34-41 (必要な準備) pp.34-41の単語調べ、Part 5~Part7までの予習		
第7回	Unit 6 :Eating Out		(内 容) pp.42-49 (必要な準備) pp.42-49の単語調べ、Part 5~Part7までの予習		
第8回	Unit 7: Hospital		(内 容) pp.50-57 (必要な準備) pp.50-57の単語調べ、Part 5~Part7までの予習		
第9回	Unit 8: Finance		(内 容) pp.58-65 (必要な準備) pp.58-65の単語調べ、Part 5~Part7までの予習		
第10回	Unit 9: Hobby		(内 容) pp.66-73 (必要な準備) pp.66-73の単語調べ、Part 5~Part7までの予習		
第11回	Unit 10: Education		(内 容) pp.74-81 (必要な準備) pp.74-81の単語調べ、Part 5~Part7までの予習		
第12回	Unit 11 : Hotel		(内 容) pp.82-89 (必要な準備) pp.82-89の単語調べ、Part 5~Part7までの予習		
第13回	Unit 12 : Shopping		(内 容) pp.90-97 (必要な準備) pp.90-97の単語調べ、Part 5~Part7までの予習		
第14回	Unit 13: Personnel		(内 容) pp.98-105 (必要な準備) pp.98-105の単語調べ、Part 5~Part7までの予習		
第15回	Review		(内 容) (必要な準備) 復習をしておくこと。		
オフィスアワー	担当授業終了後に実施する。				

授業名	英語 Iluc	開講学年	1回生	単位数	1単位
英文名	EnglishII	開講時期	秋学期	必修・選択	必修
担当者	和田 未穂子	対象学生	食物栄養 1回生		
授業の概要	演習形式の授業を通して、リーディング、リスニング、スピーキング、ライティングの4領域において総合的な英語力の基礎をバランスよく習得する。予習をしていることを前提にテキストの内容確認と練習問題をやる。				
学習成果到達目標	1) 英語基本5文型を中心とした基本的知識を獲得することができる。 2) テキストについている English Central を利用して native speaker の話し方を模倣し、英語のアクセント・リズム・ピッチを反復練習することで発音が正確にできるようになる。 3) 英語四技能を段階的に修得することができる。				
評価方法	定期試験 (60%) <input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技	平常試験 (40%) <input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input checked="" type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技			
評価基準	主たる評価の観点	<input checked="" type="checkbox"/> 知識・理解 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション能力 <input type="checkbox"/> 課題発見・解決能力 <input checked="" type="checkbox"/> (語彙力) <input type="checkbox"/> ( )			
テキスト	『VOA News Plus』 Seisuke Yasunami 他 (SEIBIDO) / Listening Trainer for English Communication Shukei Funada 他 (NAN'UN-DO)				
参考書	使用しない。				
留意事項	授業前には必ず、単語の意味を調べてくること。予習復習をしっかりと行うこと。辞書を持参すること。本授業では、全授業の1/3以上の欠席は認めない。また、演習授業のため30分以上の遅刻は欠席扱いとする。				
授業計画	学習項目		学習内容・課題		
第1回	Introduction		(内 容) 授業の学習計画を立てる。 (必要な準備) 本授業のシラバスを読む。教科書を事前に必ず購入し目を通し持ってくる。		
第2回	Unit 7 : Homes for the Homeless		(内 容) pp. 37-39 (必要な準備) pp. 37-39 の単語調べ、Listening 箇所の予習		
第3回	Unit 7 : Homes for the Homeless		(内 容) pp. 38-42 (必要な準備) Listening の内容を把握し、Summary までの予習		
第4回	Unit 8 : Care for an Exoskeleton?		(内 容) pp. 43-45 (必要な準備) pp. 43-45 の単語調べ、Listening 箇所の予習		
第5回	Unit 8 : Care for an Exoskeleton?		(内 容) pp. 44-48 (必要な準備) Listening の内容を把握し、Summary までの予習		
第6回	Unit 9 : Health on the Go		(内 容) pp. 49-51 (必要な準備) pp. 49-51 の単語調べ、Listening 箇所の予習		
第7回	Unit 9 : Health on the Go		(内 容) pp.50 - 54 (必要な準備) Listening の内容を把握し、Summary までの予習		
第8回	Review		(内 容) 英語耳を鍛えるリスニング (必要な準備) リスニング箇所の復習		
第9回	Unit 10 : E-books Rising		(内 容) pp. 55-57 (必要な準備) pp. 55-57 の単語調べ、Listening 箇所の予習		
第10回	Unit 10 : E-books Rising		(内 容) pp. 56 -60 (必要な準備) Listening の内容を把握し、Summary までの予習		
第11回	Unit 11: Health in the Forest		(内 容) pp. 61-63 (必要な準備) pp. 61-63 の単語調べ、Listening 箇所の予習		
第12回	Unit 11 : Health in the Forest		(内 容) pp. 62 -66 (必要な準備) Listening の内容を把握し、Summary までの予習		
第13回	Unit 12 : Gravity-defying Skateboards		(内 容) pp. 67 -69 (必要な準備) pp. 67-69 の単語調べ、Listening 箇所の予習		
第14回	Unit 12 : Gravity-defying Skateboards		(内 容) pp. 68 -72 (必要な準備) Listening の内容を把握し、Summary までの予習		
第15回	Review		(内 容) テキストの復習 (必要な準備)		
オフィスアワー	担当授業終了後に実施する。				

授業名	英語 IIud	開講学年	1回生	単位数	1単位
英文名	EnglishII	開講時期	秋学期	必修・選択	必修
担当者	和田 未穂子	対象学生	食物栄養 1回生		
授業の概要	演習形式の授業を通して、リーディング、リスニング、スピーキング、ライティングの4領域において総合的な英語力の基礎をバランスよく習得する。予習をしていることを前提にテキストの内容確認と練習問題をやる。				
学習成果到達目標	1) 英語基本5文型を中心とした基本的知識を獲得することができる。 2) テキストについて English Central を利用して native speaker の話し方を模倣し、英語のアクセント・リズム・ピッチを反復練習することで発音が正確にできるようになる。 3) 英語四技能を段階的に修得することができる。				
評価方法	定期試験 (60%) <input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技	平常試験 (40%) <input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input checked="" type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技			
評価基準	主たる評価の観点	<input checked="" type="checkbox"/> 知識・理解 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション能力 <input type="checkbox"/> 課題発見・解決能力 <input checked="" type="checkbox"/> ( 語彙力 ) <input type="checkbox"/> ( )			
テキスト	『VOA News Plus』 Seisuke Yasunami 他 (SEIBIDO) / Listening Trainer for English Communication Shukei Funada 他 (NAN'UN-DO)				
参考書	使用しない。				
留意事項	授業前には必ず、単語の意味を調べてくること。予習復習をしっかりと行うこと。辞書を持参すること。本授業では、全授業の1/3以上の欠席は認めない。また、演習授業のため30分以上の遅刻は欠席扱いとする。				
授業計画	学習項目		学習内容・課題		
第1回	Introduction		(内 容) 授業の学習計画を立てる。 (必要な準備) 本授業のシラバスを読む。教科書を事前に必ず購入し目を通し持ってくる。		
第2回	Unit 7 : Homes for the Homeless		(内 容) pp. 37-39 (必要な準備) pp. 37-39 の単語調べ、Listening 箇所の予習		
第3回	Unit 7 : Homes for the Homeless		(内 容) pp. 38-42 (必要な準備) Listening の内容を把握し、Summary までの予習		
第4回	Unit 8 : Care for an Exoskeleton?		(内 容) pp. 43-45 (必要な準備) pp. 43-45 の単語調べ、Listening 箇所の予習		
第5回	Unit 8 : Care for an Exoskeleton?		(内 容) pp. 44-48 (必要な準備) Listening の内容を把握し、Summary までの予習		
第6回	Unit 9 : Health on the Go		(内 容) pp. 49-51 (必要な準備) pp. 49-51 の単語調べ、Listening 箇所の予習		
第7回	Unit 9 : Health on the Go		(内 容) pp.50 - 54 (必要な準備) Listening の内容を把握し、Summary までの予習		
第8回	Review		(内 容) 英語耳を鍛えるリスニング (必要な準備) リスニング箇所の復習		
第9回	Unit 10 : E-books Rising		(内 容) pp. 55-57 (必要な準備) pp. 55-57 の単語調べ、Listening 箇所の予習		
第10回	Unit 10 : E-books Rising		(内 容) pp. 56-60 (必要な準備) Listening の内容を把握し、Summary までの予習		
第11回	Unit 11: Health in the Forest		(内 容) pp. 61-63 (必要な準備) pp. 61-63 の単語調べ、Listening 箇所の予習		
第12回	Unit 11 : Health in the Forest		(内 容) pp. 62-66 (必要な準備) Listening の内容を把握し、Summary までの予習		
第13回	Unit 12 : Gravity-defying Skateboards		(内 容) pp. 67-69 (必要な準備) pp. 67-69 の単語調べ、Listening 箇所の予習		
第14回	Unit 12 : Gravity-defying Skateboards		(内 容) pp. 68-72 (必要な準備) Listening の内容を把握し、Summary までの予習		
第15回	Review		(内 容) テキストの復習 (必要な準備)		
オフィスアワー	担当授業終了後に実施する。				

授業名	英語コミュニケーション I ua・I ub	開講学年	1回生	単位数	1単位
英文名	English Communication I	開講時期	春学期	必修・選択	必修
担当者	松尾 章子	対象学生	現代家政1回生		
授業の概要	自身や日常について平易な英語でコミュニケーションが取れるよう、会話文を中心に学習する。多読と言われる英語の本読みを行い、TOEIC (Test of English for International Communication) テストと保育英語検定の受験も視野に入れ、練習問題に取り組む。				
学習成果到達目標	1) 自身や日常について短文の英語表現で5回ほどやりとりすることができる。 2) 読みやすさレベル 0.6 までの英語本を英語のまま理解することができる。 3) TOEIC や保育英語用の単語 (使用テキストに準ずる) の意味を 250 以上知っている。				
評価方法	定期試験 (50%) <input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技	平常試験 (50%) <input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input checked="" type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技			
評価基準	主たる評価の観点	<input checked="" type="checkbox"/> 知識・理解 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題発見・解決能力 <input type="checkbox"/> ( ) <input type="checkbox"/> ( )			
テキスト	『Student Teacher』 Susan Williams, Vivian Morooka 著 (南雲堂) 『TOEIC Test Vocabulary Quizzes』 佐藤誠司著 (南雲堂) *全員必ず購入すること				
参考書	保育英語検定受験予定の者は各自の英語力に応じたテキスト・問題集を購入し、学習に取り組むことが望ましい。 『保育英語検定3級テキスト (改訂版)』 社団法人保育英語検定協会著 (本の泉社)、2,057 円 『保育英語ワークブックⅢ (保育英語検定3級問題集)』 社団法人 国際子育て支援機構著 1,472 円				
留意事項	授業には辞書を必ず持参すること。課題は期日に間に合うように提出すること。				
授業計画	学習項目	学習内容・課題			
第1回	Introduction The Alphabet-Cursive Writing Pre-Unit A Getting to Know Your Teacher	(内 容) 到達目標の確認、進め方の説明、自己紹介、pp. 4-8 (必要な準備) 本授業のシラバスを読む			
第2回	Pre-Unit B Getting to Know Your Partner Pre-Unit C Getting to Know Your Group Pre-Unit D Classroom English	(内 容) pp. 9-12 (必要な準備) ①本読み 5 冊以上、②pp. 9-12 の意味調べ			
第3回	Quiz 1 街路・交通に関する語句 Pre-Unit E Getting to Know One Another Unit 1 Meeting and Greeting (Dialogue)	(内 容) Lesson 1 小テスト、多読、pp. 13-18 (必要な準備) ①本読み 500 単語以上、②Lesson 1 単語練習、③pp. 13-18 の問題・意味調べ			
第4回	Quiz 2 旅行に関する語句 Unit 1 Meeting and Greeting (Conversation)	(内 容) Lesson 2 小テスト、多読、pp. 18-20 (必要な準備) ①本読み 500 単語以上、②Lesson 2 単語練習、③pp. 18-20 の問題・意味調べ			
第5回	Quiz 3 人物の外見・動作に関する語句 Unit 2 Family and Friends (Dialogue)	(内 容) Lesson 3 小テスト、多読、pp. 21-24 (必要な準備) ①本読み 500 単語以上、②Lesson 3 単語練習、③pp. 21-24 の問題・意味調べ			
第6回	Quiz 4 住宅・不動産に関する語句 Unit 2 Family and Friends (Conversation)	(内 容) Lesson 4 小テスト、多読、pp. 24-27 (必要な準備) ①本読み 500 単語以上、②Lesson 4 単語練習、③pp. 24-27 の問題・意味調べ			
第7回	Quiz 5 買い物・値段に関する語句 Unit 3 Likes and Dislikes (Dialogue)	(内 容) Lesson 5 小テスト、多読、pp. 28-32 (必要な準備) ①本読み 500 単語以上、②Lesson 5 単語練習、③pp. 28-32 の問題・意味調べ			
第8回	Quiz 6 商売・取引に関する語句 Unit 3 Likes and Dislikes (Conversation)	(内 容) Lesson 6 小テスト、多読、pp. 32-34 (必要な準備) ①本読み 1,000 単語以上、②Lesson 6 単語練習、③pp. 32-34 の問題・意味調べ			
第9回	Test (Units 1-3) Unit 4 Good Habits and Bad Habits (Dialogue)	(内 容) テスト、pp. 35-38 (必要な準備) ①本読み 1,000 単語以上、②テスト勉強 (Units 1-3)、③pp. 35-38 の問題・意味調べ			
第10回	Quiz 7 注文・運送に関する語句 Unit 4 Good Habits and Bad Habits (Conversation)	(内 容) Lesson 7 小テスト、多読、pp. 38-41 (必要な準備) ①本読み 1,000 単語以上、②Lesson 7 単語練習、③pp. 38-41 の問題・意味調べ			
第11回	Quiz 8 営業・宣伝・クレーム・保険に関する語句 Review Units 1-4	(内 容) Lesson 8 小テスト、多読、pp. 42-49 (必要な準備) ①本読み 1,000 単語以上、②Lesson 8 単語練習、③pp. 42-49 の問題・意味調べ			
第12回	Quiz 9 ビジネス・会社の経営に関する語句 Unit 6 Here and There (Dialogue)	(内 容) Lesson 9 小テスト、多読、pp. 56-59 (必要な準備) ①本読み 1,000 単語以上、②Lesson 9 単語練習、③pp. 56-59 の問題・意味調べ			

第 13 回	Quiz 10 会社の組織に関する語句 Unit 6 Here and There (Conversation)	(内 容) Lesson 10 小テスト、多読、pp. 58-61 (必要な準備) ①本読み 1,500 単語以上、②Lesson 10 単語練習、③pp. 58-61 の問題・意味調べ
第 14 回	Unit 7 Giving and Receiving (Dialogue)	(内 容) 多読、pp. 62-65 (必要な準備) ①本読み 1,500 単語以上、②pp. 62-65 の問題・意味調べ
第 15 回	Unit 7 Giving and Receiving (Conversation)	(内 容) 多読、pp. 65-69 (必要な準備) ①本読み 1,500 単語以上、②pp. 65-69 の問題・意味調べ
オフィス アワー	月曜日 午後 2 時半～4 時半 (詳細については研究室に掲示している)	

授業名	英語コミュニケーション I uc・I ud	開講学年	1回生	単位数	1単位
英文名	English Communication I	開講時期	春学期	必修・選択	必修
担当者	松尾 章子	対象学生	食物栄養1回生		
授業の概要	日常会話のリスニング練習を中心に行い、そこから会話表現やスピーキングを学習する。多読と言われる英語の本読みを行い、TOEIC (Test of English for International Communication) テストと保育英語検定の受験も視野に入れ、練習問題に取り組む。				
学習成果到達目標	1) 5回ほどやり取りのある日常英会話文を聞き取り、主な内容を説明することができる。 2) 読みやすさレベル 0.8 までの英語本を英語のまま理解することができる。 3) TOEIC に関する単語 (使用テキストに準ずる) の意味を 250 以上知っている。				
評価方法	定期試験 (60%) <input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技	平常試験 (40%) <input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技			
評価基準	主たる評価の観点	<input checked="" type="checkbox"/> 知識・理解 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題発見・解決能力 <input type="checkbox"/> ( ) <input type="checkbox"/> ( )			
テキスト	『Expanding Tactics for Listening 3rd ed.』 Jack C. Richards 著 (Oxford University Press) 『TOEIC Test Vocabulary Quizzes』 佐藤誠司著 (南雲堂) *全員必ず購入すること				
参考書	TOEIC 受験予定の者は各自の英語力に応じたテキスト・問題集を購入し、学習に取り組むことが望ましい。				
留意事項	授業には辞書を必ず持参すること。課題は期日に間に合うように提出すること。				
授業計画	学習項目		学習内容・課題		
第1回	Introduction The Alphabet-Cursive Writing Getting to Know Your Teacher		(内 容) 到達目標の確認、進め方の説明 (必要な準備) 本授業のシラバスを読む		
第2回	Getting to Know Your Partner Getting to Know Your Group Classroom English		(内 容) 自己紹介 (必要な準備) ①本読み 5 冊以上、②プリントの問題		
第3回	Quiz 1 街路・交通に関する語句 Getting to Know One Another Unit 1 Small Talk		(内 容) Lesson 1 小テスト、多読、Unit 1 (必要な準備) ①本読み 500 単語以上、②Lesson 1 単語練習、 ③Unit 1 の問題・意味調べ		
第4回	Quiz 2 旅行に関する語句 Unit 2 Part-Time Jobs		(内 容) Lesson 2 小テスト、多読、Unit 2 (必要な準備) ①本読み 500 単語以上、②Lesson 2 単語練習、 ③Unit 2 の問題・意味調べ		
第5回	Quiz 3 人物の外見・動作に関する語句 Unit 3 Successful Businesses		(内 容) Lesson 3 小テスト、多読、Unit 3 (必要な準備) ①本読み 500 単語以上、②Lesson 3 単語練習、 ③Unit 3 の問題・意味調べ		
第6回	Quiz 4 住宅・不動産に関する語句 Unit 4 Gadgets and Machines		(内 容) Lesson 4 小テスト、多読、Unit 4 (必要な準備) ①本読み 1,000 単語以上、②Lesson 4 単語練習、 ③Unit 4 の問題・意味調べ		
第7回	Quiz 5 買い物・値段に関する語句 Unit 5 Character Traits		(内 容) Lesson 5 小テスト、多読、Unit 5 (必要な準備) ①本読み 1,000 単語以上、②Lesson 5 単語練習、 ③Unit 5 の問題・意味調べ		
第8回	Quiz 6 商売・取引に関する語句 Unit 6 Cooking		(内 容) Lesson 6 小テスト、多読、Unit 6 (必要な準備) ①本読み 1,000 単語以上、②Lesson 6 単語練習、 ③Unit 6 の問題・意味調べ		
第9回	Test (Units 1-6) Unit 7 Housing		(内 容) テスト、Unit 7 (必要な準備) ①本読み 1,000 単語以上、②テスト勉強(Units 1-6)、 ③Unit 7 の問題・意味調べ		
第10回	Quiz 7 注文・運送に関する語句 Unit 8 apartment Problems		(内 容) Lesson 7 小テスト、多読、Unit 8 (必要な準備) ①本読み 1,000 単語以上、②Lesson 7 単語練習、 ③Unit 8 の問題・意味調べ		
第11回	Quiz 8 営業・宣伝・クレーム・保険に関する語句 Unit 9 Friendship		(内 容) Lesson 8 小テスト、多読、Unit 9 (必要な準備) ①本読み 1,500 単語以上、②Lesson 8 単語練習、 ③Unit 9 の問題・意味調べ		
第12回	Quiz 9 ビジネス・会社の経営に関する語句 Unit 10 Television		(内 容) Lesson 9 小テスト、多読、Unit 10 (必要な準備) ①本読み 1,500 単語以上、②Lesson 9 単語練習、 ③Unit 10 の問題・意味調べ		

第 13 回	Quiz 10 会社の組織に関する語句 Unit 11 Cities	(内 容) Lesson 10 小テスト、多読、Unit 11 (必要な準備) ①本読み 1,500 単語以上、②Lesson 10 単語練習、③Unit 11 の問題・意味調べ
第 14 回	Unit 12 Urban Life	(内 容) 多読、Unit 12 (必要な準備) ①本読み 1,500 単語以上、②Unit 12 の問題・意味調べ
第 15 回	Review Units 1-12	(内 容) 多読、復習 (必要な準備) ①本読み 1,500 単語以上、②Units 1-12 復習
オフィス アワー	月曜日 午後 2 時半～4 時半 (詳細については研究室に掲示している)	

授業名	英語コミュニケーションⅡ ua・Ⅱ ub	開講学年	1回生	単位数	1単位
英文名	English Communication Ⅱ	開講時期	秋学期	必修・選択	必修
担当者	松尾 章子	対象学生	現代家政1回生		
授業の概要	自身や日常について、また教育現場で平易な英語を使用してコミュニケーションが取れるよう、会話文を中心に学習する。多読と言われる英語の本読みを行い、TOEIC (Test of English for International Communication) テストと保育英語検定の受験も視野に入れ、練習問題に取り組む。				
学習成果到達目標	1) 自身や日常について、また教育現場で短文の英語表現で7回ほどやりとりすることができる。 2) 読みやすさレベル 0.8 の英語本を英語のまま理解することができる。 3) TOEIC や保育英語用の単語 (使用テキストに準ずる) の意味を 400 以上知っている。				
評価方法	定期試験 ( 50 % ) <input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技	平常試験 ( 50 % ) <input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input checked="" type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技			
評価基準	主たる評価の観点	<input checked="" type="checkbox"/> 知識・理解 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題発見・解決能力 <input type="checkbox"/> ( ) <input type="checkbox"/> ( )			
テキスト	『Student Teacher』 Susan Williams、Vivian Morooka 著 (南雲堂) 『TOEIC Test Vocabulary Quizzes』 佐藤誠司著 (南雲堂) *全員必ず購入すること				
参考書	保育英語検定受験予定の者は各自の英語力に応じたテキスト・問題集を購入し、学習に取り組むことが望ましい。 『保育英語検定 3 級テキスト (改訂版)』 社団法人保育英語検定協会著 (本の泉社)、2,057 円 『保育英語ワークブックⅢ (保育英語検定 3 級問題集)』 社団法人 国際子育て支援機構著 1,472 円				
留意事項	授業には辞書を必ず持参すること。課題は期日に間に合うように提出すること。				
授業計画	学習項目		学習内容・課題		
第1回	Unit 5 Summer and Fun (Dialogue)		(内 容) 多読、pp. 50-53 (必要な準備) ①pp. 50-53 の意味調べ		
第2回	Quiz 1 雇用・人事に関する語句 Unit 5 Summer and Fun (Conversation)		(内 容) Lesson 11 小テスト、多読、pp. 53-55 (必要な準備) ①本読み 500 単語以上、②Lesson 11 単語練習、③pp. 53-55 の意味調べ		
第3回	Quiz 2 勤務条件・労務管理に関する語句 Unit 8 Parties and Fashion (Dialogue)		(内 容) Lesson 12 小テスト、多読、pp. 70-73 (必要な準備) ①本読み 500 単語以上、②Lesson 12 単語練習、③pp. 70-73 の問題・意味調べ		
第4回	Quiz 3 事務・オフィスに関する語句 Unit 8 Parties and Fashion (Conversation)		(内 容) Lesson 13 小テスト、多読、pp. 73-77 (必要な準備) ①本読み 1,000 単語以上、②Lesson 13 単語練習、③pp. 73-77 の問題・意味調べ		
第5回	Quiz 4 通信・連絡に関する語句 Review Units 5-8		(内 容) Lesson 14 小テスト、多読、pp. 78-85 (必要な準備) ①本読み 1,000 単語以上、②Lesson 14 単語練習、③pp. 78-85 の問題・意味調べ		
第6回	Quiz 5 財務・会計に関する語句 Unit 9 Physical Education and Health (Dialogue)		(内 容) Lesson 15 小テスト、多読、pp. 86-90 (必要な準備) ①本読み 1,500 単語以上、②Lesson 15 単語練習、③pp. 86-90 の問題・意味調べ		
第7回	Quiz 6 契約・交渉に関する語句 Unit 9 Physical Education and Health (Conversation)		(内 容) Lesson 16 小テスト、多読、pp. 90-92 (必要な準備) ①本読み 1,500 単語以上、②Lesson 16 単語練習、③pp. 90-92 の問題・意味調べ		
第8回	Test (Units 5, 8 & 9) Unit 10 Nursery School and Day Care (Dialogue)		(内 容) テスト、pp. 93-95 (必要な準備) ①本読み 1,500 単語以上、②テスト勉強(Units 5, 8 & 9)、③pp. 93-95 の問題・意味調べ		
第9回	Test 7 会議・議論に関する語句 Unit 10 Nursery School and Day Care (Conversation)		(内 容) Lesson 17 小テスト、多読、pp. 96-99、Secret Santa 1 枚目提出 (必要な準備) ①本読み 1,500 単語以上、②Lesson 17 単語練習、③pp. 96-99 の問題・意味調べ、④Secret Santa 1 枚目作成		
第10回	Quiz 8 マスコミ・大学に関する語句 Unit 11 Educating and Caring (Dialogue)		(内 容) Lesson 18 小テスト、多読、pp. 100-104、Secret Santa 2 枚目提出 (必要な準備) ①本読み 1,500 単語以上、②Lesson 18 単語練習、③pp. 100-104 の問題・意味調べ、④Secret Santa 2 枚目作成		

第 11 回	Quiz 9 製造・研究・品質に関する語句 Unit 11 Educating and Caring (Conversation)	(内 容) Lesson19 小テスト、多読、pp. 104-107、Secret Santa 3 枚目提出 (必要な準備) ①本読み 1,500 単語以上、②Lesson 19 単語練習、③pp. 104-107 の問題・意味調べ、④Secret Santa 3 枚目作成
第 12 回	Quiz 10 時間・地理・位置関係に関する語句 Unit 12 Bullying and Other Problems (Dialogue)	(内 容) Lesson20 小テスト、多読、pp. 108-111、Secret Santa 4 枚目提出 (必要な準備) ①本読み 1,500 単語以上、②Lesson 20 単語練習、③pp. 108-111 の問題・意味調べ、④Secret Santa 4 枚目作成
第 13 回	Secret Santa	(内 容) Secret Santa 発表、Secret Santa 5 枚目提出 (必要な準備) ①本読み 1,500 単語以上、②Secret Santa 5 枚目作成
第 14 回	Unit 12 Bullying and Other Problems (Conversation)	(内 容) 多読、pp. 111-112、本読み感想文提出 (必要な準備) ①本読み 1,500 単語以上、②pp. 111-112 の問題・意味調べ、③本読み感想文作成
第 15 回	Review Units 9-12	(内 容) 多読、pp. 113-120 (必要な準備) ①本読み 1,500 単語以上、②pp. 113-120 の問題・意味調べ
オフィス アワー	月曜日 午後 2 時半～4 時半 (詳細については研究室に掲示している)	

授業名	英語コミュニケーションⅡ uc・Ⅱ ud	開講学年	1回生	単位数	1単位
英文名	English Communication Ⅱ	開講時期	秋学期	必修・選択	必修
担当者	松尾 章子	対象学生	食物栄養1回生		
授業の概要	日常会話のリスニング練習を中心に行い、そこから会話表現やスピーキングを学習する。多読と言われる英語の本読みを行い、TOEIC (Test of English for International Communication) テストと保育英語検定の受験も視野に入れ、練習問題に取り組む。				
学習成果到達目標	1) 7回ほどやり取りのある日常英会話文を聞き取り、主な内容を説明することができる。 2) 読みやすさレベル 1.0 までの英語本を英語のまま理解することができる。 3) TOEIC に関する単語 (使用テキストに準ずる) の意味を 400 以上知っている。				
評価方法	定期試験 (60%) <input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技	平常試験 (40%) <input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技			
評価基準	主たる評価の観点	<input checked="" type="checkbox"/> 知識・理解 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題発見・解決能力 <input 5"="" type="checkbox/&gt;( )&lt;/td&gt; &lt;/tr&gt; &lt;tr&gt; &lt;td&gt;テキスト&lt;/td&gt; &lt;td colspan="/> 『Expanding Tactics for Listening 3rd ed.』 Jack C. Richards 著 (Oxford University Press) 『TOEIC Test Vocabulary Quizzes』 佐藤誠司著 (南雲堂) *全員必ず購入すること			
参考書	TOEIC 受験予定の者は各自の英語力に応じたテキスト・問題集を購入し、学習に取り組むことが望ましい。				
留意事項	授業には辞書を必ず持参すること。課題は期日に間に合うように提出すること。				
授業計画	学習項目	学習内容・課題			
第1回	Unit 13 Special Days	(内 容) 多読、Unit 13 (必要な準備) ①Unit 13 の意味調べ			
第2回	Quiz 1 雇用・人事に関する語句 Unit 14 Fashion	(内 容) Lesson 11 小テスト、多読、Unit 14 (必要な準備) ①本読み 500 単語以上、②Lesson 11 単語練習、 ③Unit 14 の意味調べ			
第3回	Quiz 2 勤務条件・労務管理に関する語句 Unit 15 Preferences	(内 容) Lesson 12 小テスト、多読、Unit 15 (必要な準備) ①本読み 1,000 単語以上、②Lesson 12 単語練習、 ③Unit 15 の問題・意味調べ			
第4回	Quiz 3 事務・オフィスに関する語句 Unit 16 Phone Messages	(内 容) Lesson 13 小テスト、多読、Unit 16 (必要な準備) ①本読み 1,500 単語以上、②Lesson 13 単語練習、 ③Unit 16 の問題・意味調べ			
第5回	Quiz 4 通信・連絡に関する語句 Unit 17 Past Events	(内 容) Lesson 14 小テスト、多読、Unit 17 (必要な準備) ①本読み 1,500 単語以上、②Lesson 14 単語練習、 ③Unit 17 の問題・意味調べ			
第6回	Quiz 5 財務・会計に関する語句 Talk about Halloween and Secret Santa	(内 容) Lesson 15 小テスト、多読 (必要な準備) ①本読み 1,500 単語以上、②Lesson 15 単語練習			
第7回	Quiz 6 契約・交渉に関する語句 Unit 18 Vacations	(内 容) Lesson 16 小テスト、多読、Unit 18 (必要な準備) ①本読み 2,000 単語以上、②Lesson 16 単語練習、 ③Unit 18 の問題・意味調べ			
第8回	Test (Units 13-18) Unit 19 The News	(内 容) テスト、Unit 19 (必要な準備) ①本読み 2,000 単語以上、②テスト勉強(Units 13-18)、 ③Unit 19 の問題・意味調べ			
第9回	Test 7 会議・議論に関する語句 Unit 20 Opinions	(内 容) Lesson 17 小テスト、多読、Unit 20、Secret Santa 1 枚目提出 (必要な準備) ①本読み 2,000 単語以上、②Lesson 17 単語練習、 ③Unit 20 の問題・意味調べ、④Secret Santa 1 枚目作成			
第10回	Quiz 8 マスコミ・大学に関する語句 Unit 21 Famous People	(内 容) Lesson 18 小テスト、多読、Unit 21、Secret Santa 2 枚目提出 (必要な準備) ①本読み 2,000 単語以上、②Lesson 18 単語練習、 ③Unit21 の問題・意味調べ、④Secret Santa 2 枚目作成			
第11回	Quiz 9 製造・研究・品質に関する語句 Unit 22 Food and Nutrition	(内 容) Lesson19 小テスト、多読、Unit 22、Secret Santa 3 枚目提出 (必要な準備) ①本読み 2,000 単語以上、②Lesson 19 単語練習、 ③Unit22 の問題・意味調べ、④Secret Santa 3 枚目作成			

第 12 回	Quiz 10 時間・地理・位置関係に関する語句 Unit 23 Predicaments	(内 容) Lesson20 小テスト、多読、Unit 23、Secret Santa 4 枚目提出 (必要な準備) ①本読み 2,000 単語以上、②Lesson 20 単語練習、③Unit 23 の問題・意味調べ、④Secret Santa 4 枚目作成
第 13 回	Secret Santa	(内 容) Secret Santa 発表、Secret Santa 5 枚目提出 (必要な準備) ①本読み 2,000 単語以上、②Secret Santa 5 枚目作成
第 14 回	Unit 24 Global Issues	(内 容) 多読、Unit 24、本読み感想文提出 (必要な準備) ①本読み 2,000 単語以上、②Unit 24 の問題・意味調べ、③本読み感想文作成
第 15 回	Review Units 13-24	(内 容) 多読、復習 (必要な準備) ①本読み 2,000 単語以上、②Unit 13-24 復習
オフィス アワー	月曜日 午後 2 時半～4 時半 (詳細については研究室に掲示している)	

授業名	健康スポーツ科学 I ua・I ub	開講学年	1回生	単位数	1単位
英文名	Health and Sports Science I	開講時期	春学期	必修・選択	必修
担当者	石倉 忠夫	対象学生	現代家政1回生		
授業の概要	講義では運動活動が心身に及ぼす効果と運動活動の継続法について理解を深める。実技では各種スポーツがどのような運動特性に該当するかについて理解するとともに、ルールを理解し基本的な技術の習得により、生涯に亘り日常的に運動・スポーツを行う態度と能力を養う。また、体力測定を実施し、自己の運動・スポーツ実践状況の検討を加え、レポートにまとめる。				
学習成果到達目標	1) 体力測定の結果をふまえ、自己の体力の現状を認識する。 2) 運動が心身に及ぼす影響について学習し、将来における健康についての理解をスポーツの実践をとおして深める。				
評価方法	定期試験 ( 50 %) <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input checked="" type="checkbox"/> 実技		平常試験 ( 50 %) <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input checked="" type="checkbox"/> 実技		
評価基準	主たる評価の観点	<input type="checkbox"/> 知識・理解 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション能力 <input type="checkbox"/> 課題発見・解決能力 <input checked="" type="checkbox"/> 協調性 <input checked="" type="checkbox"/> リーダーシップ )			
テキスト	使用しない。				
参考書	「健康スポーツの心理学」 竹中 晃二 編 (大修館書店)				
留意事項	必要に応じてプリントを配付する。実技を行う際は、運動に相応しい服装と上履きを必ず用意すること。				
授業計画	学習項目		学習内容・課題		
第1回	はじめに		(内 容) 本講に関するオリエンテーション (必要な準備) 筆記用具、顔写真 (3cm×3cm)		
第2回	講義1		(内 容) 運動・スポーツ活動が心身の健康に及ぼす影響 (必要な準備) 筆記用具、プリントを配付する		
第3回	講義2		(内 容) 運動・スポーツ活動の継続法 (必要な準備) 筆記用具、プリントを配付する		
第4回	体力測定1		(内 容) 文部科学省新体力テスト (必要な準備) 体調管理		
第5回	体力測定2		(内 容) 文部科学省新体力テスト (必要な準備) 体調管理		
第6回	バドミントン1		(内 容) フォア・バックハンド、サーブ、スマッシュ (必要な準備) バドミンントンの基本技術を調べる		
第7回	バドミントン2		(内 容) バドミンントンの試合 (必要な準備) バドミンントンのルールを調べる		
第8回	バドミントン3		(内 容) バドミンントンの試合 (必要な準備) バドミンントンの戦術を調べる		
第9回	バドミントン4		(内 容) バドミンントンの試合 (必要な準備) バドミンントンの戦術を調べる		
第10回	ソフトバレーボール1		(内 容) パス、サーブ、レシーブ、スパイク (必要な準備) ソフトバレーボールの基本技術を調べる		
第11回	ソフトバレーボール2		(内 容) ソフトバレーボールの試合 (必要な準備) ソフトバレーボールのルールを調べる		
第12回	ソフトバレーボール3		(内 容) ソフトバレーボールの試合 (必要な準備) ソフトバレーボールの戦術を調べる		
第13回	ソフトバレーボール4		(内 容) ソフトバレーボールの試合 (必要な準備) ソフトバレーボールの戦術を調べる		
第14回	講義3		(内 容) 体力測定の結果を検討、評価 (必要な準備) 筆記用具		
第15回	まとめ		(内 容) レポート作成、提出 (必要な準備) 筆記用具		
オフィスアワー	授業終了後、体育準備室で行う。				

授業名	健康スポーツ科学 I uc・I ud		開講学年	1回生	単位数	1単位
英文名	Health and Sports Science I		開講時期	春学期	必修・選択	必修
担当者	山本 武司		対象学生	食物栄養1回生		
授業の概要	受講者全員に体力測定を実施する。講義では健康、体力、トレーニングについて理解を深める。実技では各種スポーツがどのような運動に該当するかについて理解するとともに、ルールを理解し基本的な技術の習得により、生涯に亘り日常的にスポーツを行う態度と能力を養う。					
学習成果到達目標	1) 体力測定の結果をふまえ、自己の体力の現状を認識する。 2) 運動が身体に及ぼす影響について学習し、将来における健康についての理解をスポーツの実践をとおして深める。					
評価方法	定期試験 ( 50 %) □筆記試験 □レポート □制作物 □口述 □実習 <input checked="" type="checkbox"/> 実技		平常試験 ( 50 %) □筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> レポート □制作物 □口述 □実習 <input checked="" type="checkbox"/> 実技			
評価基準	主たる評価の観点	□知識・理解 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 □プレゼンテーション能力 □課題発見・解決能力 <input checked="" type="checkbox"/> ( 協調性 ) <input checked="" type="checkbox"/> ( リーダーシップ )				
テキスト	使用しない。					
参考書	「健康・スポーツ科学講義」 出村 慎一 監修 (杏林書院)					
留意事項	必要に応じてプリントを配付する。実技を行う際は、運動に相応しい服装と上履きを必ず用意すること。					
授業計画	学習項目		学習内容・課題			
第1回	はじめに		(内 容) 本講に関するオリエンテーション (必要な準備) プリントを配布する			
第2回	バドミントン1		(内 容) フォア・バックハンド、サーブ、スマッシュ (必要な準備) バドミントン基本技術を調べる			
第3回	バドミントン2		(内 容) バドミントン・ダブルスの試合 (必要な準備) バドミンントンのルールを調べる			
第4回	バドミントン3		(内 容) バドミンントンの試合 (必要な準備) バドミンントン・ダブルスの戦術を調べる			
第5回	バドミントン4		(内 容) バドミンントンの試合 (必要な準備) バドミンントン・ダブルスの戦術を調べる			
第6回	バドミントン5		(内 容) バドミンントンの試合 (必要な準備) バドミンントン・ダブルスの戦術を調べる			
第7回	講義1		(内 容) 健康と体力、運動とトレーニング (必要な準備) 配布したプリントを読んでおく			
第8回	体力測定 1		(内 容) 文部科学省新体力テスト (必要な準備)			
第9回	体力測定2		(内 容) 文部科学省新体力テスト (必要な準備)			
第10回	ソフトバレーボール1		(内 容) パス、サーブ、レシーブ、スパイク (必要な準備) ソフトバレーボールの基本技術を調べる			
第11回	ソフトバレーボール2		(内 容) ソフトバレーボールの試合 (必要な準備) ソフトバレーボールの戦術を調べる			
第12回	ソフトバレーボール3		(内 容) ソフトバレーボールの試合 (必要な準備) ソフトバレーボールの戦術を調べる			
第13回	ソフトバレーボール4		(内 容) ソフトバレーボールの試合 (必要な準備) ソフトバレーボールの戦術を調べる			
第14回	講義 2		(内 容) 体力測定の結果を検討、評価 (必要な準備) 体力測定について振り返りをしておく			
第15回	まとめ		(内 容) レポート作成、提出 (必要な準備)			
オフィスアワー	金曜日 12:10~13:00 (体育準備室)					

授業名	健康スポーツ科学Ⅱua・Ⅱub		開講学年	1回生	単位数	1単位
英文名	Health and Sports ScienceⅡ		開講時期	秋学期	必修・選択	必修
担当者	石倉 忠夫		対象学生	現代家政1回生		
授業の概要	講義受講時と各種スポーツ実践時における気分と心拍数の変化を測定し、考察を加えレポートにまとめる。また、後半週には各種スポーツを実践する。					
学習成果到達目標	1) 講義受講時と各種スポーツ実践時の気分と心拍数を測定し、運動活動が心身に及ぼす影響について検討する。 2) 健康の保持増進を目的としたスポーツの実践をとおして、適切な運動強度による運動・スポーツを生涯に亘り実践する意義について理解する。					
評価方法	定期試験 (50%) <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input checked="" type="checkbox"/> 実技		平常試験 (50%) <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input checked="" type="checkbox"/> 実技			
評価基準	主たる評価の観点	<input type="checkbox"/> 知識・理解 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション能力 <input type="checkbox"/> 課題発見・解決能力 <input "="" 6"="" checked="" type="checkbox/&gt;(リーダーシップ)&lt;/td&gt; &lt;/tr&gt; &lt;tr&gt; &lt;td&gt;テキスト&lt;/td&gt; &lt;td colspan="/> 使用しない。				
参考書	「健康スポーツの心理学」 竹中 晃二 編 (大修館書店)					
留意事項	必要に応じてプリントを配付する。実技を行う際は、運動に相応しい服装と上履きを必ず用意すること。					
授業計画	学習項目		学習内容・課題			
第1回	はじめに		(内 容) 本講に関するオリエンテーション (必要な準備) 筆記用具			
第2回	講義1		(内 容) 運動・スポーツ活動の継続法の事例 (必要な準備) 筆記用具、プリントを配付する			
第3回	運動時の気分と心拍数の測定1		(内 容) ウォーキング前後の気分と心拍数の測定 (必要な準備) 体調管理			
第4回	運動時の気分と心拍数の測定2		(内 容) ウォーキング前後の気分と心拍数の測定 (必要な準備) 体調管理			
第5回	運動時の気分と心拍数の測定3		(内 容) ウォーキング前後の気分と心拍数の測定 (必要な準備) 体調管理			
第6回	各種スポーツの実践1		(内 容) 縄跳び (必要な準備) 体調管理			
第7回	各種スポーツの実践2		(内 容) ドッジボール (必要な準備) 体調管理			
第8回	バスケットボール1		(内 容) バスケットボールの試合 (必要な準備) バスケットボールのルールを調べる			
第9回	バスケットボール2		(内 容) バスケットボールの試合 (必要な準備) バスケットボールの戦術を調べる			
第10回	バスケットボール3		(内 容) バスケットボールの試合 (必要な準備) バスケットボールの戦術を調べる			
第11回	卓球1		(内 容) 卓球の試合 (必要な準備) 卓球のルールを調べる			
第12回	卓球2		(内 容) 卓球の試合 (必要な準備) 卓球の戦術を調べる			
第13回	卓球3		(内 容) 卓球の試合 (必要な準備) 卓球の戦術を調べる			
第14回	講義2		(内 容) 測定資料の整理、検討、考察 (必要な準備) 筆記用具			
第15回	まとめ		(内 容) レポート作成、提出 (必要な準備) 筆記用具			
オフィスアワー	授業終了後、体育準備室で行う。					

授業名	健康スポーツ科学Ⅱ uc・Ⅱ ud		開講学年	1回生	単位数	1単位
英文名	Health and Sports ScienceⅡ		開講時期	秋学期	必修・選択	必修
担当者	山本 武司		対象学生	食物栄養1回生		
授業の概要	運動実践時にハートレートモニターを装着し、心拍数を測定する。測定結果から各運動の運動強度を調査し、運動の内容について検討を加えレポートにまとめる。各種スポーツの実践を通して日常的にスポーツを行う態度と能力を養う。					
学習成果到達目標	1) 各種スポーツ実践時の心拍数、運動継続時間を測定して運動強度を判定し、運動内容について検討する。 2) 健康の保持増進を目的としたスポーツの実践をとおして、適切な運動強度による運動を生涯に亘り実践する意義について理解する。					
評価方法	定期試験 ( 50 %) <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input checked="" type="checkbox"/> 実技		平常試験 ( 50 %) <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input checked="" type="checkbox"/> 実技			
評価基準	主たる評価の観点	<input type="checkbox"/> 知識・理解 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション能力 <input type="checkbox"/> 課題発見・解決能力 <input checked="" type="checkbox"/> ( 協調性 ) <input checked="" type="checkbox"/> ( リーダーシップ )				
テキスト	使用しない。					
参考書	「健康・スポーツ科学講義」 出村 慎一 監修 (杏林書院)					
留意事項	必要に応じてプリントを配付する。実技を行う際は、運動に相応しい服装と上履きを必ず用意すること。ウォーキング時は運動靴を使用すること。					
授業計画	学習項目		学習内容・課題			
第1回	はじめに		(内 容) 本講に関するオリエンテーション (必要な準備)			
第2回	講義1		(内 容) 健康を維持増進するための運動 (必要な準備) 配布したプリントを読んでおく			
第3回	運動時心拍数の測定1		(内 容) ウォーキング時の心拍数測定 (必要な準備) 正しい歩き方と適正強度を調べる			
第4回	運動時心拍数の測定2		(内 容) ウォーキング時の心拍数測定 (必要な準備) 正しい歩き方と適正強度の確認			
第5回	運動時心拍数の測定3		(内 容) ウォーキング時の心拍数測定 (必要な準備) 正しい歩き方と適正強度の確認			
第6回	運動時心拍数の測定4		(内 容) ウォーキング時の心拍数測定 (必要な準備) 正しい歩き方と適正強度の確認			
第7回	各種スポーツの実践1		(内 容) 綱引き (必要な準備) 綱引きについて調べる			
第8回	各種スポーツの実践2		(内 容) 大縄跳び (必要な準備) 大縄跳びについて調べる			
第9回	各種スポーツの実践3		(内 容) ドッジボール (必要な準備) ドッジボールのルールを調べる			
第10回	バスケットボール1		(内 容) ドリブル、パス、シュート (必要な準備) バスケットボールの基本技術を調べる			
第11回	バスケットボール2		(内 容) バスケットボールの試合 (必要な準備) バスケットボールの戦術を調べる			
第12回	バスケットボール3		(内 容) バスケットボールの試合 (必要な準備) バスケットボールの戦術を調べる			
第13回	バスケットボール4		(内 容) バスケットボールの試合 (必要な準備) バスケットボールの戦術を調べる			
第14回	講義2		(内 容) 測定資料の検討、考察 (必要な準備) 測定資料を整理しておく			
第15回	まとめ		(内 容) レポート作成、提出 (必要な準備)			
オフィスアワー	金曜日 12:10~13:00 (体育準備室)					

授業名	人権と社会u	開講学年	1回生	単位数	2単位
英文名	Human Rights and Society	開講時期	春学期	必修・選択	必修
担当者	湯浅 俊郎	対象学生	全1回生		
授業の概要	本授業では、まず、差別と偏見の捉え方から始まり、ジェンダーの視点から、女性労働における人権の問題を中心に考察していくことを目指している。目に見える差別を観察し、その背後にある目に見えない心の闇や偏見を考えるにあたって、いくつかの研究成果を踏まえながら、現代の人権問題を考察していく。				
学習成果到達目標	1) 人権を視点に現代の女性労働の問題を捉えることができる。 2) 差別と偏見の問題を捉えることができる。 3) 日常生活の中で人権尊重の意識・態度を自己点検する姿勢を持つことができる。				
評価方法	定期試験 (60%) <input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技	平常試験 (40%) <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技			
評価基準	主たる評価の観点	<input checked="" type="checkbox"/> 知識・理解 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題発見・解決能力 <input type="checkbox"/> ( ) <input type="checkbox"/> ( )			
テキスト	適時適切に資料を配布				
参考書	適宜紹介する				
留意事項	覚える学びでなく調べ考える学びを重視する				
授業計画	学習項目	学習内容・課題			
第1回	ガイダンス	(内 容) 本講義の概要を理解する。 (必要な準備)			
第2回	人に備わる利他性	(内 容) 心理学以外の社会科学において「心」をどのように扱ってきたのか考察する。 (必要な準備) 前講の復習。			
第3回	差別と偏見Ⅰ-「行動」から「心」を探る	(内 容) 我々が普段行う選択と選好の問題に関して考察する。 (必要な準備) 前講の復習。			
第4回	差別と偏見Ⅱ-市場理論からの分析	(内 容) 市場理論から差別と偏見の問題について考察する。 (必要な準備) 前講の復習。			
第5回	差別と偏見Ⅲ-住民の独立意向を考察する。	(内 容) スコットランドやカナダのケベック州の独立運動について考察する。 (必要な準備) 前講の復習。			
第6回	ジェンダーの視点について	(内 容) ジェンダーの視点について考察する。 (必要な準備) 前講の復習。			
第7回	男女の行動の違いについてⅠ-リスクの取り方に性差あり?	(内 容) リスクの取り方の性差について考察する。 (必要な準備) 前講の復習。			
第8回	男女の行動の違いについてⅡ-性差の刷り込みの影響	(内 容) 性差の刷り込みの影響について考察します。 (必要な準備) 前講の復習。			
第9回	男女の行動の違いについてⅢ-社会環境が性差を生む?	(内 容) 社会環境により性差を生む側面について考察する。 (必要な準備) 前講の復習			
第10回	男女の行動の違いについてⅣ-女性は交渉を避ける傾向あり?	(内 容) 女性らしさというジェンダー規範の問題について考査する。 (必要な準備) 前講の復習。			
第11回	男女の行動の違いについてⅤ-性差を超えた取り組みを	(内 容) 人との関わりかたの差について考察し、性差を超えた取り組みについて考える。 (必要な準備) 前講の復習。			
第12回	女性労働の問題Ⅰ-女性の社会進出の現状	(内 容) 国際比較をまじえて女性の社会進出の現状について考察する。 (必要な準備) 前講の復習。			
第13回	女性労働の問題Ⅱ-女性労働の壁について	(内 容) 女性労働の制度的な壁となっている問題について考察する。 (必要な準備) 前講の復習。			
第14回	女性労働の問題についてⅢ-社会保障のありかた	(内 容) 女性労働における社会保障のありかたについて考察する。 (必要な準備) 前講の復習。			
第15回	まとめ	(内 容) 本講義のポイント整理。 (必要な準備) 定期試験にむけた質問事項。			
オフィスアワー	毎週1回(休業期間中を除く。)オフィスアワーを設けます。※オフィスアワーに設定している時間帯であっても、会議や出張などで在室できない場合がありますので、予めご承知おきください。				

授業名	情報処理 ua・ub・uc	開講学年	1・2・3・4 回生	単位数	2単位
英文名	Information Processing	開講時期	春学期	必修・選択	選択
担当者	秋山 裕之	対象学生	現代家政1回生・2回生・3回生・4回生		
授業の概要	現在、パーソナルコンピューターを介した記録や情報検索などが日常的におこなわれ必要不可欠となっている。コンピューターを用いた基本的な情報処理スキルを習得するため、本科目では文章編集ソフト、表計算ソフト、プレゼンテーションソフトなどの使い方や活用方法、インターネットを用いた情報検索などについての実習をおこなう。				
学習成果到達目標	1) Microsoft Word による文書入力・整形、図表の作成・挿入などの操作ができるようになる 2) Microsoft Excel によるデータ入力、関数を用いた計算、グラフや表の作成・整形などができるようになる 3) Microsoft PowerPoint によるスライド作成、図表の挿入・整形などができるようになる				
評価方法	定期試験 (40%) <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技	平常試験 (60%) <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> レポート <input checked="" type="checkbox"/> 制作物 <input type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技			
評価基準	主たる評価の観点	<input checked="" type="checkbox"/> 知識・理解 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション能力 <input type="checkbox"/> 課題発見・解決能力 <input checked="" type="checkbox"/> (実践力) <input type="checkbox"/> ( )			
テキスト	使用しない。授業毎にプリントを配布				
参考書	使用しない。				
留意事項	毎回の授業の内容は前回の授業内容をふまえたものであるため、欠席をしないように心がけること。				
授業計画	学習項目	学習内容・課題			
第1回	Windows の基本操作	(内 容) フォルダ作成、外部メディアへの保存など (必要な準備) USB メモリ			
第2回	Word 1 (基本操作)	(内 容) コピー&貼り付け、タッチタイピングなど (必要な準備) 前回の復習			
第3回	Word 2 (書式設定と整形)	(内 容) 文章の作成・整形、箇条書きなど (必要な準備) 前回の復習			
第4回	Word 3 (図入りの文書の作成)	(内 容) 画像の作成・挿入、テキストの配置 (必要な準備) 前回の復習			
第5回	Word 4 (表作成、テキストボックス)	(内 容) 単純な表、複雑な表の作成 (必要な準備) 前回の復習			
第6回	Word 5 (総復習)	(内 容) 習得したテクニックを用いて課題作成 (必要な準備) 前回までの復習			
第7回	Excel 1 (基本概念と作表)	(内 容) セル・シートの解説、データ入力、作表など (必要な準備) 前回の復習			
第8回	Excel 2 (表計算)	(内 容) 合計、式のコピー、四捨五入など (必要な準備) 前回の復習			
第9回	Excel 3 (関数)	(内 容) 平均・標準偏差などの関数 (必要な準備) 前回の復習			
第10回	Excel 4 (データベース)	(内 容) オートフィルタ・RANK 関数・VLOOKUP 関数 (必要な準備) 前回の復習			
第11回	Excel 5 (グラフ)	(内 容) 棒・折線・円・複合などのグラフ (必要な準備) 前回の復習			
第12回	Excel 6 (統計分析)	(内 容) クロス表、基本統計量、検定など (必要な準備) 前回の復習			
第13回	Excel 7 (総復習)	(内 容) 分析とグラフ作成の実践 (必要な準備) 前回までの復習			
第14回	PowerPoint	(内 容) 基礎から応用まで (必要な準備) 前回の復習、自己紹介用素材			
第15回	インターネット・リテラシー	(内 容) インターネット・リテラシー (必要な準備) インターネット用 ID とパスワード			
オフィスアワー	週に1時間×2回設定。曜日・時間帯は学生演習室にて掲示。				

授業名	情報処理 ud	開講学年	1 回生	単位数	2単位
英文名	Information Processing	開講時期	春学期	必修・選択	選択
担当者	岩佐 真代	対象学生	食物栄養1回生		
授業の概要	現在、パーソナルコンピューターを介した記録や情報検索などが日常におこなわれ必要不可欠となっている。コンピューターを用いた基本的な情報処理スキルを習得するため、本科目では文章編集ソフト、表計算ソフト、プレゼンテーションソフトなどの使い方や活用方法、インターネットを用いた情報検索などについての実習をおこなう。				
学習成果到達目標	1) Microsoft Word による文書入力・整形、図表の作成・挿入などの操作ができるようになる 2) Microsoft Excel によるデータ入力、関数を用いた計算、グラフや表の作成・整形などができるようになる 3) Microsoft PowerPoint によるスライド作成、図表の挿入・整形などができるようになる				
評価方法	定期試験 ( 40 %) <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技	平常試験 ( 60 %) <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> レポート <input checked="" type="checkbox"/> 制作物 <input type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技			
評価基準	主たる評価の観点	<input checked="" type="checkbox"/> 知識・理解 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション能力 <input type="checkbox"/> 課題発見・解決能力 <input checked="" type="checkbox"/> ( ITリテラシー ) <input type="checkbox"/> ( )			
テキスト	使用しない。授業毎にプリントを配布				
参考書	使用しない。				
留意事項	毎回の授業の内容は前回の授業内容をふまえたものであるため、欠席をしないように心がけること。項目の区切りにおこなう課題は、クラス全体の習熟度や希望などをふまえて決定される。				
授業計画	学習項目		学習内容・課題		
第1回	Windows の基本操作		(内 容) フォルダ作成、外部メディアへの保存など (必要な準備) USB メモリ		
第2回	Word の基本操作		(内 容) 保存、書式設定、コピー&貼り付け、印刷など (必要な準備) 前回の復習		
第3回	Word による文書作成と整形		(内 容) 文章の作成・整形、箇条書きなど (必要な準備) 前回の復習		
第4回	Word による図入りの文書の作成		(内 容) 画像の作成・挿入、テキストの配置 (必要な準備) 前回の復習		
第5回	Word による Word による表作成		(内 容) 単純な表、複雑な表の作成 (必要な準備) 前回の復習		
第6回	Word のまとめ		(内 容) 習得したテクニックを用いて課題作成 (必要な準備) 前回の復習		
第7回	Excel の基本操作		(内 容) セル・シートの解説、データ入力、計算など (必要な準備) 前回の復習		
第8回	Excel 関数		(内 容) 合計、平均、最大・小値、四捨五入、IF 関数など (必要な準備) 前回の復習		
第9回	Excel による表の作成		(内 容) 表の作成、書式設定を用いた整形など (必要な準備) 前回の復習		
第10回	Excel によるグラフの作成		(内 容) データ入力、グラフの作成・分析など (必要な準備) 前回の復習		
第11回	Excel のまとめ		(内 容) 習得したテクニックを用いて課題作成 (必要な準備) 前回の復習		
第12回	PowerPoint の基本操作		(内 容) スライドの作成・整形、図表の挿入など (必要な準備) 前回の復習		
第13回	PowerPoint と Excel との連携		(内 容) Excel で作成したグラフの挿入、テクニックなど (必要な準備) 前回の復習		
第14回	PowerPoint のまとめ		(内 容) 習得したテクニックを用いて課題作成 (必要な準備) 前回の復習、スライド作成のための資料収集		
第15回	インターネット・リテラシー		(内 容) インターネット・リテラシー (必要な準備) インターネット用 ID とパスワード		
オフィスアワー	初回の授業で連絡します。				

授業名	情報処理 ue	開講学年	1 回生	単位数	2 単位
英文名	Information Processing	開講時期	春学期	必修・選択	選択
担当者	猿渡 綾子	対象学生	食物栄養1回生		
サブテーマ	Word、Excel、PowerPoint の基本操作、インターネット・リテラシー				
授業の概要	現在、パーソナルコンピューターを介した記録や情報検索などが日常的におこなわれ必要不可欠となっている。コンピューターを用いた基本的な情報処理スキルを習得するため、本科目では文章編集ソフト、表計算ソフト、プレゼンテーションソフトなどの使い方や活用方法、インターネットを用いた情報検索などについての実習をおこなう。				
学習成果到達目標	1) Microsoft Word による文書入力・整形、図表の作成・挿入などの操作ができるようになる 2) Microsoft Excel によるデータ入力、関数を用いた計算、グラフや表の作成・整形などができるようになる 3) Microsoft PowerPoint によるスライド作成、図表の挿入・整形などができるようになる				
評価方法	定期試験 ( 40 %) □筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> レポート □制作物 □口述 □実習 □実技		平常試験 ( 60 %) □筆記試験 □レポート <input checked="" type="checkbox"/> 制作物 □口述 □実習 □実技		
評価基準	主たる評価の観点	<input checked="" type="checkbox"/> 知識・理解 □コミュニケーション能力	<input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション能力	□課題発見・解決能力 □( )	
テキスト	使用しない。授業毎にプリントを配布				
参考書	使用しない。				
留意事項	毎回の授業の内容は前回の授業内容をふまえたものであるため、欠席をしないように心がけること。項目の区切りにおこなう課題は、クラス全体の習熟度や希望などをふまえて決定される。				
授業計画	学習項目		学習内容・課題		
第1回	Windows の基本操作		(内 容) フォルダ作成、外部メディアへの保存など (必要な準備) USB メモリ		
第2回	Word の基本操作		(内 容) 保存、書式設定、コピー&貼り付け、印刷など (必要な準備) 前回の復習		
第3回	Word による文書作成と整形		(内 容) 文章の作成・整形、箇条書きなど (必要な準備) 前回の復習		
第4回	Word による図入りの文書の作成		(内 容) 画像の作成・挿入、テキストの配置 (必要な準備) 前回の復習		
第5回	Word による Word による表作成		(内 容) 単純な表、複雑な表の作成 (必要な準備) 前回の復習		
第6回	Word のまとめ		(内 容) 習得したテクニックを用いて課題作成 (必要な準備) 前回の復習		
第7回	Excel の基本操作		(内 容) セル・シートの解説、データ入力、計算など (必要な準備) 前回の復習		
第8回	Excel 関数		(内 容) 合計、平均、最大・小値、四捨五入、IF 関数など (必要な準備) 前回の復習		
第9回	Excel による表の作成		(内 容) 表の作成、書式設定を用いた整形など (必要な準備) 前回の復習		
第10回	Excel によるグラフの作成		(内 容) データ入力、グラフの作成・分析など (必要な準備) 前回の復習		
第11回	Excel のまとめ		(内 容) 習得したテクニックを用いて課題作成 (必要な準備) 前回の復習		
第12回	PowerPoint の基本操作		(内 容) スライドの作成・整形、図表の挿入など (必要な準備) 前回の復習		
第13回	PowerPoint と Excel との連携		(内 容) Excel で作成したグラフの挿入、テクニックなど (必要な準備) 前回の復習		
第14回	PowerPoint のまとめ		(内 容) 習得したテクニックを用いて課題作成 (必要な準備) 前回の復習、スライド作成のための資料収集		
第15回	インターネット・リテラシー		(内 容) インターネット・リテラシー (必要な準備) インターネット用 ID とパスワード		
オフィスアワー	初回の授業で連絡します。				

授業名	情報処理論	開講学年	1・2・3・4回生	単位数	2単位
英文名	Information Processing	開講時期	春学期	必修・選択	選択
担当者	植田 佐知子	対象学生	全1回生・2回生・3回生・4回生		
授業の概要	今や日常生活の隅々にまでコンピュータが入り込んできている。従って、ビジネスの分野だけでなく、家庭内においても多くの世代が、基本的な仕組みを正しく理解しておく必要がある。授業では、コンピュータの原理を基礎から学び、さらにコンピュータネットワークや情報セキュリティ、システム開発への知識を深める。さらに、家電製品にも小型化されたコンピュータが組み込まれている。そのような身近なコンピュータにも目を向けてみたい。				
学習成果到達目標	1) 情報化社会に必要な基礎的知識を習得し、コンピュータ利用に関する様々な場面でよりよい判断や利用ができる 2) コンピュータネットワークやシステム開発への理解により、職場でユーザとして必要な改善要求を適切に出すことができる				
評価方法	定期試験 (60%) <input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技	平常試験 (40%) <input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技			
評価基準	主たる評価の観点	<input checked="" type="checkbox"/> 知識・理解 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題発見・解決能力 <input checked="" type="checkbox"/> 状況把握能力 ) <input type="checkbox"/>			
テキスト	使用しない。				
参考書	随時指示する。				
留意事項	授業に積極的に参加し、自分で考える努力をしてほしい。				
授業計画	学習項目	学習内容・課題			
第1回	情報化の歴史と情報社会の問題点	(内 容) アンケート&小テスト、本講義の目標と概要を理解する (必要な準備) これまでに学習した情報関連の知識を思い出しておくこと			
第2回	コンピュータの基礎(1) 情報の表現	(内 容) コンピュータの原理を解説する (必要な準備) 第1回で配布するプリントで指示する			
第3回	コンピュータの基礎(2) ハードウェアとソフトウェア	(内 容) OSの存在を理解するため、ハードウェアから解説する (必要な準備) 第2回で配布するプリントで指示する			
第4回	コンピュータの基礎(3) アルゴリズム	(内 容) アルゴリズムについて解説し、記述する練習を行う (必要な準備) 第3回で配布するプリントで指示する			
第5回	ネットワーク(1) コンピュータネットワークの基礎	(内 容) 基本的なネットワークの構成を解説する (必要な準備) 第1回～4回の復習をする			
第6回	ネットワーク(2) インターネット	(内 容) インターネットの現況を解説する (必要な準備) 第5回で配布するプリントで指示する			
第7回	ネットワーク(3) WWW	(内 容) WWWの仕組みを解説する (必要な準備) 第6回で配布するプリントで指示する			
第8回	データベースの基礎	(内 容) データベースの仕組みを解説する (必要な準備) 第5回～7回の復習をする			
第9回	システム開発(1) 概要	(内 容) システム開発とはどのように行うのかを解説する (必要な準備) 第8回で配布するプリントで指示する			
第10回	システム開発(2) 実例	(内 容) システム開発の例を取り上げ、体験の場とする (必要な準備) 第9回で配布するプリントで指示する			
第11回	情報セキュリティ(1) 情報セキュリティの重要性	(内 容) コンピュータに存在する脅威と対策を解説する (必要な準備) 第8回～10回の復習をする			
第12回	情報セキュリティ(2) ネットワーク利用のマナー 知的財産権	(内 容) 情報化社会で守るべきルールを考える (必要な準備) 第11回で配布するプリントで指示する			
第13回	ユーザインタフェース(1) インタフェースの問題	(内 容) ユーザインタフェースについて解説する (必要な準備) 第12回で配布するプリントで指示する			
第14回	ユーザインタフェース(2) エラーを防ぐインタフェースの設計	(内 容) ユーザインタフェースの設計次第でミスを防げることを知る (必要な準備) 第13回での課題“改善要求書”を作成する			
第15回	身近な情報技術	(内 容) 様々な所でコンピュータが活躍していることを知る (必要な準備) 第11回～14回の復習をする			
オフィス アワー	担当授業終了後に実施する				

授業名	地球環境学	開講学年	3・4 回生	単位数	2単位
英文名	Environmental Science	開講時期	春学期	必修・選択	選択
担当者	太田 真人	対象学生	現代家政3回生・4回生		
授業の概要	大規模な生産と消費の活動が、地球に及ぼした影響について考え、環境汚染など地球規模の問題を正しく理解する。これらの問題に関する新しい情報も加え、その解決策および今後地球上で人類が生存していく、持続可能な社会について考えていく。				
学習成果到達目標	1) 地球の創世からの歴史を学び、地球と私達の環境の現状について論じる力を付ける。 2) 将来の人類のあり方や環境問題への対処法について自然科学的視点で自分の立場を明確に出来る。				
評価方法	定期試験 ( 70 % ) □口述 □実習 □実技	<input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 □レポート □制作物	平常試験 ( 30 % ) □口述 □実習 □実技	<input type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> レポート □制作物	
評価基準	主たる評価の観点	<input checked="" type="checkbox"/> 知識・理解 □( )	<input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 □プレゼンテーション能力	<input checked="" type="checkbox"/> 課題発見・解決能力 □( )	
テキスト	講義のはじめに資料を配布するので特に準備するものはない。				
参考書	随時指示する。				
留意事項	自分たちが生まれ住んでいる地球について学び、今世界が抱えている環境問題について知る。そして今後、自分たちや後世まで地球環境を守っていくためにはどのようにするのが良いかなど関心を持ってもらいたい。				
授業計画	学習項目	学習内容・課題			
第1回	地球の誕生	(内 容)	授業の概要説明。地球環境を学ぶためにも地球の歴史を知る。		
		(必要な準備)	地球の環境問題について予習しておく		
第2回	生物の進化	(内 容)	生命の誕生、生物の進化について。		
		(必要な準備)	進化について予習しておく		
第3回	大気環境・地球温暖化	(内 容)	大気環境と地球温暖化について。		
		(必要な準備)	大気環境の問題について予習しておく		
第4回	水環境	(内 容)	地球上の水とそれによって発展した文化について		
		(必要な準備)	水環境の問題について予習しておく		
第5回	治水・利水	(内 容)	水の管理と付き合い方		
		(必要な準備)	治水・利水について予習しておく		
第6回	近畿圏における琵琶湖	(内 容)	近畿圏において琵琶湖の存在の重要性を知る		
		(必要な準備)	琵琶湖について予習しておく		
第7回	生物多様性	(内 容)	環境問題が与える生物への影響を学ぶ		
		(必要な準備)	生物多様性について予習しておく		
第8回	外来種問題	(内 容)	外来種が在来種へ与える影響について学ぶ		
		(必要な準備)	外来種について予習しておく		
第9回	食と農業	(内 容)	生きていくために必要な食物と農業や漁業について。		
		(必要な準備)	農業や漁業について予習しておく		
第10回	里山の歴史	(内 容)	里山の管理の重要性が求められる中で実際の里山とは何か？里山の管理とは何かについて学ぶ。		
		(必要な準備)	里山について予習しておく		
第11回	ごみ問題	(内 容)	生活していると必ず出るごみ。ごみの処理方法や問題、法律について。		
		(必要な準備)	ごみ問題について予習しておく		
第12回	エネルギー問題	(内 容)	火力・水力・原子力など多様な方法で電気を生み出している現代において、その利用方法や付き合い方について考える。		
		(必要な準備)	エネルギー問題について予習しておく		
第13回	新エネルギー	(内 容)	自然の力を主に利用した新エネルギーの可能性について		
		(必要な準備)	新エネルギーについて予習しておく		
第14回	都市環境	(内 容)	都市化が進むことによって生まれてきた問題や自然との共生のしかたについて考える		
		(必要な準備)	都市環境について予習しておく		
第15回	持続可能な社会を目指して	(内 容)	これまでの復習も兼ねて今後の未来に向けて自分たちに何が出来るかを考える。		
		(必要な準備)	持続可能な社会について予習しておく		
オフィスアワー	担当授業終了後に実施する。				

授業名	いのちの科学ua	開講学年	1・2・3・4回	単位数	2単位
英文名	Life Science	開講時期	春学期	必修・選択	選択
担当者	小西 憲子	対象学生	現代家政1回生・2回生・3回生・4回生		
授業の概要	生命進化を生化学的に概観するとともに、地球の環境変化との相互関係を解説する。 1. 生命の科学的定義 2. 生命進化 3. 地球の環境変化 4. 個体発生 5. 発生過程の生化学的变化				
学習成果到達目標	1) 生命に対する科学的概念が確立できる。 2) 生命進化に対する地球環境の影響を理解できる。 3) 個体発生過程を理解できる。 4) 最新のバイオテクノロジーに関心を持ち、関連の新聞記事が理解できる。				
評価方法	定期試験 ( 80 % ) <input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技	平常試験 ( 20 % ) <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技			
評価基準	主たる評価の観点	<input checked="" type="checkbox"/> 知識・理解 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> ( 汎用的能力 )	<input type="checkbox"/> プレゼンテーション能力	<input checked="" type="checkbox"/> 課題発見・解決能力	( )
テキスト	プリント				
参考書	視覚でとらえるフォトサイエンス「生物図鑑」鈴木孝仁監修 数研出版、NHK プロジェクト『地球大進化』(NHK出版)。				
留意事項	生物学、化学、地学などの学問領域にこだわることなく、最新の知見に基づき総合的に思考、理解して欲しい。				
授業計画	学習項目		学習内容・課題		
第1回	生命とは	(内 容) (必要な準備)	生命の科学的定義 生命とは何かについて考えてみる		
第2回	進化とたん白質	(内 容) (必要な準備)	たん白質に残された進化の化学的痕跡 たん白質について調べておく		
第3回	進化とDNA	(内 容) (必要な準備)	DNAに残された進化の化学的痕跡 DNAについて調べておく		
第4回	地球の歴史	(内 容) (必要な準備)	地球および生命の誕生過程 地球の歴史について調べておく		
第5回	大陸移動	(内 容) (必要な準備)	大陸の移動およびそのエネルギー源 大陸移動について調べておく		
第6回	全球凍結	(内 容) (必要な準備)	全球凍結による大量絶滅 たん白質について調べておく		
第7回	生物進化	(内 容) (必要な準備)	大量絶滅による生物進化の推進 生物の進化について調べておく		
第8回	ヒトの起源	(内 容) (必要な準備)	哺乳類およびヒトの誕生 ヒトの誕生・起源について調べておく		
第9回	出アフリカ	(内 容) (必要な準備)	ヒトが地球上に拡散した過程 出アフリカについて調べておく		
第10回	日本人の起源	(内 容) (必要な準備)	日本人の構成 日本人の起源について調べておく		
第11回	南北モンゴロイド	(内 容) (必要な準備)	南北モンゴロイドの移動 南北モンゴロイドについて調べておく		
第12回	受精	(内 容) (必要な準備)	受精の過程 受精の過程について調べておく		
第13回	個体発生	(内 容) (必要な準備)	妊娠の過程 妊娠の過程について調べておく		
第14回	バイオテクノロジー	(内 容) (必要な準備)	クローン羊の意義 バイオテクノロジーについて調べておく		
第15回	再生医療	(内 容) (必要な準備)	ES細胞、iPS細胞の意義 再生医療について調べておく		
オフィスアワー	初回の授業で連絡します。				

授業名	いのちの科学ub	開講学年	1 回生	単位数	2単位
英文名	Life Science	開講時期	春学期	必修・選択	選択
担当者	小西 憲子	対象学生	食物栄養1回生		
授業の概要	生命進化を生化学的に概観するとともに、地球の環境変化との相互関係を解説する。 1. 生命の科学的定義 2. 生命進化 3. 地球の環境変化 4. 個体発生 5. 発生過程の生化学的变化				
学習成果到達目標	1) 生命に対する科学的概念が確立できる。 2) 生命進化に対する地球環境の影響を理解できる。 3) 個体発生過程を理解できる。 4) 最新のバイオテクノロジーに関心を持ち、関連の新聞記事が理解できる。				
評価方法	定期試験 ( 80 % ) <input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技	平常試験 ( 20 % ) <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技			
評価基準	主たる評価の観点	<input checked="" type="checkbox"/> 知識・理解 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題発見・解決能力 <input checked="" type="checkbox"/> ( 汎用的能力 ) <input type="checkbox"/> ( )			
テキスト	プリント				
参考書	視覚でとらえるフォトサイエンス「生物図鑑」鈴木孝仁監修 数研出版、NHK プロジェクト『地球大進化』(NHK 出版)。				
留意事項	生物学、化学、地学などの学問領域にこだわることなく、最新の知見に基づき総合的に思考、理解して欲しい。				
授業計画	学習項目		学習内容・課題		
第1回	生命とは	(内 容) (必要な準備)	生命の科学的定義 生命とは何かについて考えてみる		
第2回	進化とたん白質	(内 容) (必要な準備)	たん白質に残された進化の化学的痕跡 たん白質について調べておく		
第3回	進化とDNA	(内 容) (必要な準備)	DNAに残された進化の化学的痕跡 DNAについて調べておく		
第4回	地球の歴史	(内 容) (必要な準備)	地球および生命の誕生過程 地球の歴史について調べておく		
第5回	大陸移動	(内 容) (必要な準備)	大陸の移動およびそのエネルギー源 大陸移動について調べておく		
第6回	全球凍結	(内 容) (必要な準備)	全球凍結による大量絶滅 たん白質について調べておく		
第7回	生物進化	(内 容) (必要な準備)	大量絶滅による生物進化の推進 生物の進化について調べておく		
第8回	ヒトの起源	(内 容) (必要な準備)	哺乳類およびヒトの誕生 ヒトの誕生・起源について調べておく		
第9回	出アフリカ	(内 容) (必要な準備)	ヒトが地球上に拡散した過程 出アフリカについて調べておく		
第10回	日本人の起源	(内 容) (必要な準備)	日本人の構成 日本人の起源について調べておく		
第11回	南北モンゴロイド	(内 容) (必要な準備)	南北モンゴロイドの移動 南北モンゴロイドについて調べておく		
第12回	受精	(内 容) (必要な準備)	受精の過程 受精の過程について調べておく		
第13回	個体発生	(内 容) (必要な準備)	妊娠の過程 妊娠の過程について調べておく		
第14回	バイオテクノロジー	(内 容) (必要な準備)	クローン羊の意義 バイオテクノロジーについて調べておく		
第15回	再生医療	(内 容) (必要な準備)	ES細胞、iPS細胞の意義 再生医療について調べておく		
オフィスアワー	初回の授業で連絡します。				

授業名	京都の歴史u	開講学年	1・2・3・4回生	単位数	2単位
英文名	History of Kyoto	開講時期	秋学期	必修・選択	選択
担当者	工藤 美和子	対象学生	全1回生・2回生・3回生・4回生		
授業の概要	京都で育まれた文化、伝統、歴史について日本人そして海外の人はどのように感じているのだろうか。そこで、異文化理解という視点から京都の歴史や文化について学んでいく。				
学習成果到達目標	1) 教養として知っておくべき歴史知識を習得する。 2) 海外の人が感じる京都の魅力について理解する。				
評価方法	定期試験 ( 100 %) <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技	平常試験 ( % ) <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技			
評価基準	主たる評価の観点	<input checked="" type="checkbox"/> 知識・理解 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題発見・解決能力 <input checked="" type="checkbox"/> 講義中に行う小テスト ) <input checked="" type="checkbox"/> 講義に対する意欲 )			
テキスト	京都商工会議所編『増補版京都・観光文化検定試験』(淡交社、2010年)				
参考書	特になし。資料は随時配布する。				
留意事項	講義中の私語・携帯・スマホの使用は厳禁。学生の本分は学ぶことを肝に銘じて講義にのぞむこと。小テストも評価基準として考慮する。				
授業計画	学習項目		学習内容・課題		
第1回	ガイダンス		(内 容) ガイダンス (必要な準備) 特になし		
第2回	京都の歴史—平安時代から鎌倉時代		(内 容) テキストの解説 (必要な準備) テキストの該当部分を読んでおくこと。		
第3回	京都の歴史—室町時代から幕末		(内 容) テキストの解説 (必要な準備) テキスト該当部分を読んでおくこと。		
第4回	京都の歴史—近現代		(内 容) テキストの解説 (必要な準備) テキスト該当部分を読んでおくこと。		
第5回	なぜ京都は観光名所になったのか		(内 容) テキストの解説 (必要な準備) テキスト該当部分を読んでおくこと。		
第6回	Kyoto's Top10 10位から5位		(内 容) 外国人が訪れたい京都について学ぶ。 (必要な準備) その理由について考える。		
第7回	Kyoto's Top10 4位から1位		(内 容) 外国人が訪れたい京都について学ぶ。 (必要な準備) その理由について考える。		
第8回	Kyoto's Festivals—やすらい祭・葵祭		(内 容) 京都の祭礼について学ぶ。 (必要な準備) 春を代表する祭りについて考える。		
第9回	Kyoto's Festivals—祇園祭		(内 容) 祇園祭について学ぶ。 (必要な準備) テキスト該当部分を熟読しておくこと。		
第10回	Kyoto's Festivals—五山の送り火		(内 容) 五山の送り火について学ぶ。 (必要な準備) テキスト該当部分を読んでおくこと。		
第11回	花街の歴史と文化—MAIKO and GEIKO		(内 容) 花街の歴史を学ぶ。 (必要な準備) 花街の歴史変遷を知る。		
第12回	京の食文化—京料理		(内 容) 京料理の歴史について学ぶ。 (必要な準備) テキスト該当部分を読んでおくこと		
第13回	京の食文化—京菓子		(内 容) 京菓子の歴史について学ぶ。 (必要な準備) テキスト該当部分を読んでおくこと		
第14回	他者の歴史と文化を知ること。		(内 容) 多文化理解について学ぶ。 (必要な準備)		
第15回	まとめ		(内 容) 各自が日本もしくはどの国の歴史・文化について興味があるのかについて考える。		
オフィスアワー	月曜日昼休み				

授業名	こころの科学u	開講学年	1・2・3・4回生	単位数	2単位
英文名	Mental Science	開講時期	春学期	必修・選択	選択
担当者	小川徳子	対象学生	全1回生・2回生・3回生・4回生		
授業の概要	心理学が“人間の心の働きと行動を理解する”ために、どのような研究をおこない、その結果何が明らかになってきたのか、解説する。視聴覚教材や配付資料を用い、主に、実験系の心理学によって蓄積されてきた知見を取り上げて紹介する。				
学習成果到達目標	1) 心理学の基礎領域について、全体像を把握する。 2) 心の働きにはどのようなものがあるのか、理解する。 3) 人の心の働きについて、科学的・合理的に判断し、その内容を自分なりに説明できるようになる。				
評価方法	定期試験 ( 80 % ) <input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技	平常試験 ( 20 % ) <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技			
評価基準	主たる評価の観点	<input checked="" type="checkbox"/> 知識・理解 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション能力 <input type="checkbox"/> 課題発見・解決能力 <input checkbox="" checked="" type="checkbox/&gt;(論理的な記述力) &lt;input type="/> ( )			
テキスト	心理学—心のはたらきを知る— 第2版 (コンパクト新心理学ライブラリ)				
参考書	北尾 倫彦、中島 実、他 (1997) グラフィック心理学 サイエンス社				
留意事項	ほぼ毎回、授業時間内に提出を求めるショートレポート課題あり。				
授業計画	学習項目	学習内容・課題			
第1回	心理学とは	(内 容) 心理学の基礎領域 (必要な準備)			
第2回	感覚・知覚・認知	(内 容) 情報を取り入れる働き (必要な準備) 五感と心の関係とは?説明してみよう			
第3回	記憶 (1)	(内 容) 「覚える」・「忘れる」働き (必要な準備) 記憶にはどんな種類がある?考えておこう			
第4回	記憶 (2)	(内 容) 記憶の発達 (必要な準備) 記憶の何が変わると発達?考えておこう			
第5回	言語 (1)	(内 容) ことばの働き (必要な準備) ことばの働きとは何?考えておこう			
第6回	言語 (2)	(内 容) ことばの発達過程 (必要な準備) ことばの習得に必要な力は?考えておこう			
第7回	思考 (1)	(内 容) 「考える」働き (必要な準備) 「考える」とは何すること?説明してみよう			
第8回	思考 (2)	(内 容) 思考の発達 (必要な準備) 言語と思考のつながりを説明してみよう			
第9回	行動	(内 容) 学習と動機づけ (必要な準備) 人の行動を変える要因とは?考えておこう			
第10回	感情	(内 容) 感情と他の心の働きの関係 (必要な準備) 「感情」はどんな働き?説明してみよう			
第11回	自己	(内 容) 「自分」という存在に気づく (必要な準備) 自分を知る手がかりとは?考えておこう			
第12回	知能	(内 容) 知的な能力とは何か (必要な準備) 「知能」について説明してみよう			
第13回	パーソナリティ	(内 容) 個性の捉え方 (必要な準備) 自分や友人の性格を説明してみよう			
第14回	社会的認知	(内 容) 他者の捉え方 (必要な準備) 他者の印象を左右するのは?考えておこう			
第15回	社会的行動	(内 容) 他者との関り (必要な準備) 集団で行動する時の傾向とは?考えておこう			
オフィスアワー	担当授業の開始前か終了後に実施する。				

授業名	社会学概論		開講学年	1・2・3・4 回生	単位数	2単位
英文名	Introduction to Sociology		開講時期	春学期	必修・選択	選択
担当者	湯浅 俊郎		対象学生	全1回生・2回生・3回生・4回生		
授業の概要	人間関係のありかたを視点に、「何故、我々は悩むのか？」という日常生活の身近な問題を出発点として、映像資料を用いながら、次のように授業を進めていきます。まず、人の間で生じる相互作用についての考察から初めて、個人の側から現代社会のありかたを捉えていきます。次に、グローバル化という大きな社会現象から現代社会のありかたを捉えることを通じて、その現象によって個人のありかたはどのように変わったのかを捉えて行きます。これらのことを通じて、現代社会のありかたについて考察していきます。					
学習成果到達目標	1) 物事を観察する力を身につけ、現代社会のありかたを「自分なり」に客観的に分析することができるようになる。 2) 人とのつながりを視点に、日常の問題を分析することができるようになる。 3) 自分なりの視点で、新聞やニュースを見ることができるようになる。					
評価方法	定期試験 (60%) <input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技		平常試験 (40%) <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技			
評価基準	主たる評価の観点	<input checked="" type="checkbox"/> 知識・理解 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題発見・解決能力 <input type="checkbox"/> ( ) <input type="checkbox"/> ( )				
テキスト	授業時に資料を配布します。					
参考書	『社会学』長谷川公一・浜日出夫・藤村正之・町村敬志編，有斐閣 2007年。					
留意事項	普段の生活においても、新聞やニュース、ドキュメンタリー報道には目を通すように心がけ、授業で習ったことを、実際に日常の出来事に適用・応用し、授業中課題（ミニッツペーパー）にも、その成果を出せるようにする。（授業の進展度合いにより予定の変更もある）					
授業計画	学習項目		学習内容・課題			
第1回	ガイダンス		(内 容) 授業の内容と進め方について説明します。 (必要な準備)			
第2回	現代の社会問題について		(内 容) 人間関係を視点に現代の社会問題を考察することの有効性を説明します。 (必要な準備) 日常生活における自分の人間関係をめぐる問題について整理してください。			
第3回	人間の相互作用について		(内 容) 日常生活における分析に適用・応用できる人の間で生じる相互作用のありかたの類型について説明する。 (必要な準備) 自分の家族や友人など、どのような内容を持つ関係なのか整理してみてください。			
第4回	相互作用の類型について		(内 容) 「人間の相互作用Ⅰ」を踏まえた上で、映像資料を通じて、人間の感情の動きを考察して行きます。 (必要な準備) 日常における自分の人間関係を分析し、整理してみてください。			
第5回	人間関係の変化について		(内 容) 「人間の相互作用Ⅰ、Ⅱ」を踏まえた上で、相互作用を通じた人間関係の変化について考察して行きます。 (必要な準備) 授業で習ったことを適用・応用し、映像資料から見える人間関係を分析してみてください。			
第6回	人間の絆について		(内 容) 現代の社会において「人間の絆」はどのように捉えられるのかについて考察して行きます。 (必要な準備) 自分の身の周りに存在する「人間の絆」について整理してみてください。			
第7回	人間の絆についての分析		(内 容) 映像資料を用いて、「人間の絆」についての考察を深めて行きます。 (必要な準備) 日常生活における「人間の絆」について、その純粋性とは何かを考察してみてください。			
第8回	人間の絆とは何か		(内 容) 「人間の絆についてⅠ、Ⅱ」を踏まえた上で、「純粋な人間関係」について考察を進めて行きます。 (必要な準備) 授業で習ったことを適用・応用し、映像資料を素材に「純粋な人間の絆」について考察してみてください。			

第9回	組織と個人について	(内 容) 人間は、どのようにすれば「一致団結＝まとまる」ことができるのか。ここでは「組織」を捉える枠組みについて考察して行きます。 (必要な準備) 自分が、これまで所属している・してきた組織（クラブなど）は、どのように運営されていたのか、整理してみてください。
第10回	組織と個人についての分析	(内 容) ここでは「組織と個人についてI」を踏まえて、映像資料も参考にしながら、組織のありかたについて考察して行きます。 (必要な準備) 組織に関する分析組みを用いて、自分が所属していた・している組織を分析してみてください。
第11回	組織と個人の関係とは	(内 容) クラブ活動などの経験を事例に、人間は、どうすれば、一致団結し、まとまるのか、を考察して行きます。 (必要な準備) 授業で習ったことを適用・応用し、映像資料から見える「組織と個人のありかた」について分析してみてください。
第12回	グローバル化について	(内 容) グローバル化の進展により、どのような社会問題が生じているのか、説明して行きます。 (必要な準備) 食や衣服など、自分の身の周りの商品が、どこで作られているのか、注意深く観察してみてください。
第13回	グローバル化の現状	(内 容) グローバル化が進展していく中で、必要となる異文化の理解について考察して行きます。 (必要な準備) 授業で習ったことを適用・応用し、映像資料から見える「グローバル化」という現象を分析してみてください。
第14回	日常生活を振り返って—人間関係	(内 容) 日常の身近な生活の問題に振り返って、コミュニケーションの問題について検討して行きます。 (必要な準備) 仲間同士で盛り上がっているときなど、メンバーは、それぞれ、どのような役割を果たしているのかを考察してみてください。
第15回	日常生活を振り返って—コミュニケーション	(内 容) 人間がいかに他者との関係のなかで自己を表現しようとしているか、いかに他者の存在を理解しようとしているか、そのなかで生じる相互作用について考察して行きます。 (必要な準備) 授業で習ったことを適用・応用し、映像資料を素材に、「コミュニケーションのありかた」を考察してみてください。
オフィス アワー	毎週1回（休業期間中を除く。）オフィスアワーを設けます。※オフィスアワーに設定している時間帯であっても、会議や出張などで在室できない場合がありますので、予めご承知おきください。	

授業名	くらしと法律(日本国憲法)	開講学年	1・2・3・4回生	単位数	2単位
英文名	Law and Our living(The Constitution of Japan)	開講時期	春学期	必修・選択	選択
担当者	渡辺 暁彦	対象学生	全1回生・2回生・3回生・4回生		
授業の概要	小・中学校や高等学校などでの憲法学習で得られた知識をもとに、より体系的に日本国憲法の全体像を理解することを主な目的とします。特に、私たちの人権をめぐる問題を中心に、あらためて憲法の意義や役割について考え直してみたいと思います。それは、市民としての私たちの責務を自覚することでもあります。				
学習成果到達目標	1) 日本国憲法に関する基本的知識を獲得するとともに、それを分かりやすく伝える力を身につけること。 2) 日本国憲法とその運用が、私たちの生活の基盤を成していることについて理解すること。 3) 市民としての私たちの責務を自覚すること。				
評価方法	定期試験 ( 80 %) <input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技	平常試験 ( 20 %) <input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技			
評価基準	主たる評価の観点 <input checked="" type="checkbox"/> 知識・理解 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題発見・解決能力 <input type="checkbox"/> ( ) <input type="checkbox"/> ( )				
テキスト	吉田仁美編『スタート憲法 [第2版補訂版]』(成文堂) *詳細は、参考文献のことも含めて初回に説明します。				
参考書	芦部信喜『憲法 [第六版]』(岩波書店)、吉田仁美ほか『人権保障の現在』(ナカニシヤ出版)、その他、授業中に指示します。				
留意事項	日々の新聞および雑誌記事の切り抜きを課題とします。それら日々の出来事・事件から「人権」についての理解につとめていただきたいと思います。なお、時事的な話題を適宜取り上げたいと考えていますので、授業計画を若干変更することもあります。				
授業計画	学習項目	学習内容・課題			
第1回	法とは何か、憲法とは？	(内 容) 社会規範としての法、法の体系など (必要な準備) シラバス及びテキストの目次、プロローグに目を通しておくこと。			
第2回	比較のなかの日本国憲法	(内 容) 憲法の歴史、諸外国の憲法との比較、最高法規としての憲法。 (必要な準備) 前回と同様。			
第3回	日本国憲法の制定過程	(内 容) 日本国憲法の制定過程を振り返る。 (必要な準備) テキスト「日本国憲法の成立」に目を通しておくこと。			
第4回	人権とは何か	(内 容) 人権の観念、私人間効力をめぐる問題など。 (必要な準備) テキスト「基本的人権総論」に目を通しておくこと。			
第5回	人権は誰のもの？	(内 容) 人権の享有主体性。 (必要な準備) テキスト第2章に目を通しておくこと。			
第6回	人権保障の現在(1)自己決定権、プライバシー	(内 容) 個人の尊重と公共の福祉について。 (必要な準備) テキスト第3章。			
第7回	人権保障の現在(2)法の下での平等	(内 容) 男女平等、など。 (必要な準備) テキスト第4章。			
第8回	人権保障の現在(3)精神的自由	(内 容) 思想・良心の自由、表現の自由とその制約。 (必要な準備) テキスト第5章、第6章、第7章。			
第9回	人権保障の現在(4)経済的自由	(内 容) 経済的自由と規制のあり方。 (必要な準備) テキスト第8章。			
第10回	人権保障の現在(5)社会権ほか	(内 容) 特に、教育を受ける権利を中心に。 (必要な準備) テキスト第9章、第10章。			
第11回	人権保障と権力分立	(内 容) 人権保障とそのため制度的基盤。 (必要な準備) テキスト「統治機構総論」。			
第12回	民主政治のしくみ(1)国会	(内 容) 国会の地位と構成、国会の権能など。 (必要な準備) テキスト第11章、第12章。			
第13回	民主政治のしくみ(2)内閣	(内 容) 議院内閣制、行政の民主的コントロールなど。 (必要な準備) テキスト第13章。			
第14回	民主政治のしくみ(3)裁判所	(内 容) 現代国家における司法、司法の民主化と裁判員制度など。 (必要な準備) テキスト第14章。			
第15回	まとめ ~憲法改正論議と私たち~	(内 容) 昨今の憲法改正論に言及しながら、いま日本国憲法を学ぶ意味について考える。 (必要な準備) テキスト「エピローグ」。			
オフィスアワー	担当授業終了後に実施します。				

授業名	日本の文学 u	開講学年	1・2・3・4回生	単位数	2単位
英文名	Japanese Literature	開講時期	秋学期	必修・選択	選択
担当者	土井 哲治	対象学生	全1回生・2回生・3回生・4回生		
授業の概要	普段読まない、日本の有名な古典作品を味読することで、古い時代の日本人の姿に関する知識を増やし、優れた古人のいろいろな感性やものの考え方に接していただき、それらを通して、日常あまり考えないことを考える手懸かりともしていただきたい。吉田兼好に物申すというレポートをほぼ毎回作成する。				
学習成果到達目標	1) 『徒然草』について十分理解する。 2) 普段考えない方面のことを十分考えることができる。				
評価方法	定期試験 ( 40 %) <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技	平常試験 ( 60 %) <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技			
評価基準	主たる評価の観点	<input checked="" type="checkbox"/> 知識・理解 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題発見・解決能力	<input checkbox="" checked="" type="checkbox/&gt;( 文章による論理展開能力 ) &lt;input type="/> ( )		
テキスト	『徒然草』(角川ソフィア文庫) 今泉忠義 著 (角川書店)				
参考書					
留意事項	毎回テキストの現代語訳を読んてくること。 レポート作成時に欠席した場合は、必ず次の授業までに提出すること。				
授業計画	学習項目		学習内容・課題		
第1回	導入		(内 容) 授業概要について (必要な準備)		
第2回	三・七段		(内 容) 該当箇所の精読 (必要な準備) 現代語訳を読んてくる。		
第3回	九・十二段		(内 容) 該当箇所の精読 (必要な準備) 現代語訳を読んてくる。		
第4回	十九・二十五段		(内 容) 該当箇所の精読 (必要な準備) 現代語訳を読んてくる。		
第5回	三十・三十一段		(内 容) 該当箇所の精読 (必要な準備) 現代語訳を読んてくる。		
第6回	三十二・三十八段		(内 容) 該当箇所の精読 (必要な準備) 現代語訳を読んてくる。		
第7回	四十一・四十四段		(内 容) 該当箇所の精読 (必要な準備) 現代語訳を読んてくる。		
第8回	五十・五十四段		(内 容) 該当箇所の精読 (必要な準備) 現代語訳を読んてくる。		
第9回	五十六・五十九段		(内 容) 該当箇所の精読 (必要な準備) 現代語訳を読んてくる。		
第10回	七十一・七十三段		(内 容) 該当箇所の精読 (必要な準備) 現代語訳を読んてくる。		
第11回	七十五・八十八段		(内 容) 該当箇所の精読 (必要な準備) 現代語訳を読んてくる。		
第12回	百四・百七段		(内 容) 該当箇所の精読 (必要な準備) 現代語訳を読んてくる。		
第13回	百十二・百十七段		(内 容) 該当箇所の精読 (必要な準備) 現代語訳を読んてくる。		
第14回	百二十八・百五十五段		(内 容) 該当箇所の精読 (必要な準備) 現代語訳を読んてくる。		
第15回	まとめ		(内 容) 総括と質問 (必要な準備) 質問の用意		
オフィスアワー	月曜日午後 12 時から 15 時				

授業名	比較文化論u	開講学年	1・2・3・4回生	単位数	2単位
英文名	Theory of Comparative Culture	開講時期	秋学期	必修・選択	選択
担当者	秋山 裕之	対象学生	全1回生・2回生・3回生・4回生		
授業の概要	文化の定義を概観したのち、いくつかのトピックを通してそれらがいかに多様であるかを示す。学生どうしでのディスカッションを通して多様性への理解を深め、自身の視点を相対化・客体化できるようになることを目指す。文化について包括的に考察し、その多様性を尊重することができるようになるための材料を提示したい。				
学習成果到達目標	1) 価値観の多様性や文化的偏見について理解を深める。 2) 文化を比較することで得られる知見にどのような意義があるかを見出すことができる。 3) 多様な物差しがあることを意識し、その多様性を尊重することができるようになる。				
評価方法	定期試験 ( 50 % ) <input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技	平常試験 ( 50 % ) <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技			
評価基準	主たる評価の観点	<input checked="" type="checkbox"/> 知識・理解 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題発見・解決能力 <input type="checkbox"/> ( ) <input type="checkbox"/> ( )			
テキスト	指定しない。				
参考書	世界主要国価値観データブック				
留意事項	座席は指定することがある。小グループでのディスカッションを重視する。				
授業計画	学習項目		学習内容・課題		
第1回	オリエンテーション 文化とは何か		(内 容) 講義スケジュール、文化の定義 (必要な準備) シラバスを読んでくる		
第2回	小さな比較の実践		(内 容) 小グループでディスカッション (必要な準備) 比較するテーマを考えておく		
第3回	名付けの文化1		(内 容) ブッシュマンの名付け、諸外国の名付け (必要な準備) 子にどんな名を付けたいか考えておく		
第4回	名付けの文化2		(内 容) 名付けのバリエーションと変化について (必要な準備) 自分の名前由来を確認しておく		
第5回	混ざり合う文化1		(内 容) 明治期の日本文化にみられる諸外国の影響 (必要な準備) キーワード予習		
第6回	混ざり合う文化2		(内 容) 現代日本文化<から/>の影響 (必要な準備) キーワード予習		
第7回	植民地主義と文化侵略		(内 容) アフリカにおける植民地主義の影響 (必要な準備) キーワード予習		
第8回	文化の画一化		(内 容) アメリカニゼーション (必要な準備) キーワード予習		
第9回	宗教・死生観		(内 容) 日本人と宗教 (必要な準備) キーワード予習		
第10回	個人主義と集団主義		(内 容) 外国人による日本文化論 (必要な準備) キーワード予習		
第11回	価値観の多国間比較1		(内 容) 社会意識の比較 (必要な準備) キーワード予習		
第12回	価値観の多国間比較2		(内 容) 家族、子どもに対する意識の比較 (必要な準備) キーワード予習		
第13回	価値観の多国間比較3		(内 容) 人生観の比較 (必要な準備) キーワード予習		
第14回	海外文化とステレオタイプ		(内 容) 文化的偏見 (必要な準備) キーワード予習		
第15回	文化を比較して分かったこと		(内 容) 比較文化の意義 (必要な準備) これまでの復習		
オフィスアワー	週に1時間×2回設定。曜日・時間帯は学生演習室にて掲示。				

授業名	社会福祉史		開講学年	3・4 回生	単位数	2単位
英文名	History of Social Welfare		開講時期	春学期	必修・選択	選択
担当者	野田 隆生		対象学生	現代家政3回生・4回生		
授業の概要	生活上の悩みや不安はいつの世にも存在している。この生活課題（特に「貧困問題」）に対していかなる対策が講じられてきたのかについて考究したい。わが国では、社会福祉という概念が形成される前に、慈善、慈恵、相互扶助、博愛等の考えが存在していた。こうした歴史的事実をふりかえりながら、今日の社会福祉との相違点を明らかにし、社会福祉の理念についてその理解を深めていきたい。さらに、欧米の社会福祉の歴史と比較する中で、日本の社会福祉の特徴を明らかにしていきたい。授業は講義形式で行う。					
到達目標	1) 過去の積み重ねが現代社会を築いていることを、歴史的事実に目を向けることで実感できるようになる。 2) 史資料を読み込み、その時代の歴史的背景について理解できるようになる。 3) 人間が生きてきた証をたどることから、支援することの意味について考えることができるようになる。					
評価方法	定期試験 ( 80 %) <input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技		平常試験 ( 20 %) <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技			
評価基準	主たる評価の観点		<input checked="" type="checkbox"/> 知識・理解 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題発見・解決能力 <input type="checkbox"/> ( 史資料読解力 ) <input type="checkbox"/> ( )			
テキスト	使用しない。史資料ならびにプリントを適宜コピーし配布する。					
参考書	吉田久一著『日本社会事業の歴史』『社会福祉と日本の宗教思想』勁草書房、菊池正治・室田保夫編『日本社会福祉の歴史 付・史資料』ミネルヴァ書房、古川孝順・金子光一編『社会福祉発達史 キーワード』有斐閣、室田保夫著『人物でよむ近代日本社会福祉のあゆみ』ミネルヴァ書房、金子光一著『社会福祉のあゆみ 社会福祉思想の軌跡』有斐閣アルマ、住谷馨他編著『人間福祉の思想と実践』ミネルヴァ書房					
留意事項	講義中の積極的な質問や意見を期待する。					
授業計画	学習項目			学習内容・課題		
第1回	はじめに ～なぜ「歴史」なのか？～			(内 容) 講義の進め方や評価方法、参考文献の紹介 (必要な準備) 受講動機の整理		
第2回	「歴史」の学び ～宗教的慈善～			(内 容) 歴史を学ぶ意味を理解する (必要な準備) “きく” 姿勢		
第3回	古代日本の慈善と救済			(内 容) 飛鳥・奈良・平安期の慈善と救済 (必要な準備) “きく” 姿勢		
第4回	中世日本の慈善と救済			(内 容) 鎌倉・室町期の慈善と救済 (必要な準備) “きく” 姿勢		
第5回	近世日本の慈善と救済			(内 容) 幕藩体制下の慈善と救済 (必要な準備) “きく” 姿勢		
第6回	イギリスの社会事業 ～救貧法の誕生～			(内 容) 絶対王政下での救貧法の誕生 (必要な準備) “きく” 姿勢		
第7回	イギリスの社会事業 ～社会的貧困～			(内 容) 社会的貧困と社会調査 (必要な準備) “きく” 姿勢		
第8回	アメリカの社会事業 ～ソーシャルワークの誕生～			(内 容) 専門社会事業の芽生え (必要な準備) “きく” 姿勢		
第9回	近代社会事業のあゆみ ～恤救規則の誕生～			(内 容) 慈善救済事業から感化救済事業へ (必要な準備) “きく” 姿勢		
第10回	近代社会事業のあゆみ ～児童・障害者・高齢者への保護事業～			(内 容) キリスト教・仏教による慈善事業 (必要な準備) “きく” 姿勢		
第11回	近代社会事業のあゆみ ～感化救済事業～			(内 容) 官僚にみる救貧事業 (必要な準備) “きく” 姿勢		
第12回	戦後の社会福祉 ～福祉三法の成立～			(内 容) 占領下の社会福祉事業 (必要な準備) “きく” 姿勢		
第13回	戦後の社会福祉 ～高度経済成長期～			(内 容) 福祉六法体制と社会保障 (必要な準備) “きく” 姿勢		
第14回	豊かな社会と「救い」			(内 容) 権利と福祉サービス (必要な準備) 考える姿勢		
第15回	まとめにかえて ～しあわせですか？～			(内 容) ふりかえりを行う (必要な準備) 考える姿勢		
オフィスアワー	火曜日 午前8時より同10時まで					

授業名	ジェンダー論u	開講学年	2・3・4回生	単位数	2単位
英文名	Gender Studies	開講時期	秋学期	必修・選択	選択
担当者	湯川 宗紀	対象学生	現代家政2回生・3回生・4回生		
授業の概要	ジェンダー（文化的社会的歴史的につくられた性差）とされた身体の歴史について考える。 現代日本の女性の置かれた境遇、格差、貧困問題についてデータを使いながら解説する。				
学習成果到達目標	1) ジェンダーを自分自身の問題として捉え、これからの生き方につなげることができることを目標とする。 2) 自分が当たり前だと思っている考え方について再考することを目標とする。 3) 格差問題とジェンダーについてどう生きるべきなのかについて考えることを目標とする。				
評価方法	定期試験 (70%) <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技	平常試験 (30%) <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技			
評価基準	主たる評価の観点	<input checked="" type="checkbox"/> 知識・理解 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題発見・解決能力 <input checked="" type="checkbox"/> (文章構成能力) <input type="checkbox"/> ( )			
テキスト	なし				
参考書					
留意事項	遠くの誰かの問題ではなく、自分自身の問題として考えてください。				
授業計画	学習項目	学習内容・課題			
第1回	オリエンテーション	(内 容) この授業の目標を理解する (必要な準備)			
第2回	「らしさ」と個人	(内 容) ジェンダー化される個人について考える。 (必要な準備) 前回の講義について復習すること。			
第3回	フェミニズムの歴史	(内 容) フェミニズムの歴史と今日的課題を学ぶ。 (必要な準備) 前回の講義について復習すること。			
第4回	フェミニズムとジェンダー	(内 容) 女性解放運動からジェンダーへのつながり。 (必要な準備) 前回の講義について復習すること。			
第5回	日常生活から考える社会的性差	(内 容) 自分と生活の中のジェンダーについて学ぶ。 (必要な準備) 前回の講義について復習すること。			
第6回	「結婚」	(内 容) 「結婚」について考える。 (必要な準備) 前回の講義について復習すること。			
第7回	落ちていく男性	(内 容) 「男性」の置かれた状況について考える。 (必要な準備) 各自、「男」とは何かについて予習すること。			
第8回	シングルマザー	(内 容) シングルマザーの社会的環境を考える。 (必要な準備) 前回の講義について復習すること。			
第9回	女性の貧困と階層の固定化 1	(内 容) 女性の貧困問題について考える。 (必要な準備) 前回の講義について復習すること。			
第10回	女性の貧困と階層の固定化 2	(内 容) 女性の貧困がもたらすものについて考える。 (必要な準備) 前回の講義について復習すること。			
第11回	働くこと・産むことと少子化	(内 容) 女性の就労と少子化について考える。 (必要な準備) 前回の講義について復習すること。			
第12回	都市と農山漁村におけるジェンダー	(内 容) ジェンダー概念の差異について考える。 (必要な準備) 前回の講義について復習すること。			
第13回	伝統・文化とジェンダー	(内 容) 同性愛とトランスジェンダーを考える。 (必要な準備) 前回の講義について復習すること。			
第14回	個人と「らしさ」	(内 容) 個々人のジェンダーについて考える。 (必要な準備) 前回の講義について復習すること。			
第15回	まとめ	(内 容) これまでのまとめと今後の課題を学ぶ。 (必要な準備)			
オフィスアワー	担当授業終了後に実施する				

授業名	世界の経済	開講学年	1・2・3・4回生	単位数	2単位
英文名	World Economy	開講時期	春学期	必修・選択	選択
担当者	足立 正樹	対象学生	全1回生・2回生・3回生・4回生		
授業の概要	私たちはさまざまな経済現象のなかで暮らしている。経済現象の中には自分の生活と無関係と思われるものもあるが、国境を越えての経済活動が急速に広がっている中では、思わざるところで関係している場合も多い。たとえば通貨危機、IT不況、同時多発テロなどは私たちの日常や経済現象に大きな影響を与えている。経済とは何かを理解するために、現実に行っている経済現象、諸問題を検討していく。授業は講義形式で行う。				
学習成果到達目標	1) 世界経済の歴史と現状についての基本的知識を習得する。 2) 自分のくらしと世界経済の結びつきを理解する。				
評価方法	定期試験 (70%) <input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技	平常試験 (30%) <input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技			
評価基準	主たる評価の観点	<input checked="" type="checkbox"/> 知識・理解 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題発見・解決能力 <input type="checkbox"/> ( ) <input type="checkbox"/> ( )			
テキスト	使用しない。				
参考書	使用しない。				
留意事項					
授業計画	学習項目	学習内容・課題			
第1回	はじめに	(内 容) 講義の基本方針 (必要な準備) シラバスを読んでおく。			
第2回	日常生活における世界経済 I	(内 容) 身の回りの外国製品、円相場、海外旅行 (必要な準備) 身の回りの外国製品を調べてみる。			
第3回	日常生活における世界経済 II	(内 容) 日本の経済構造と世界経済 (必要な準備) 日本経済と世界経済の違いについて知っていることをまとめておく。			
第4回	世界経済の成立	(内 容) 新大陸の発見と世界経済 (必要な準備) 大航海の時代について調べる。			
第5回	近代社会の原理と国民国家	(内 容) 近代社会の精神的特徴と国家体制 (必要な準備) 近代の特徴を調べておく。			
第6回	自由貿易の理論的基礎 I	(内 容) 自由主義思想と経済学の誕生 (必要な準備) 自由貿易とは何か、調べておく。			
第7回	自由貿易の理論的基礎 II	(内 容) 貿易の利益の基礎理論 (必要な準備) 比較優位を調べておく。			
第8回	日本と世界経済 I	(内 容) 古代と中世における外国貿易 (必要な準備) 古代～中世の貿易について調べておく。			
第9回	日本と世界経済 II	(内 容) 近世における外国貿易 (必要な準備) 近世の貿易について調べておく。			
第10回	世界経済の発展 I	(内 容) 植民地獲得競争と日本の開国 (必要な準備) 非ヨーロッパの植民地化について調べておく。			
第11回	世界経済の発展 II	(内 容) 世界大恐慌と資本主義の崩壊 (必要な準備) 世界大恐慌について調べておく。			
第12回	破局からの復興 I	(内 容) 国内体制の整備、福祉国家体制 (必要な準備) 経済再建の原則を理解しておく。			
第13回	破局からの復興 II	(内 容) 国際体制、自由貿易体制の確立 (必要な準備) IMF・ブレトンウッズについて調べておく。			
第14回	ソ連体制の崩壊とグローバル化	(内 容) 世界単一市場の成立 (必要な準備) 価格破壊の実態について調べておく。			
第15回	世界経済の展望	(内 容) 続発する通貨危機と新たな秩序の試み (必要な準備) 過去に世帯で起こった通貨危機について調べる。			
オフィスアワー	担当授業の前後に行う。				

授業名	国際理解	開講学年	1・2・3・4回生	単位数	2単位
英文名	International Understanding	開講時期	春学期	必修・選択	選択
担当者	松浦 真理	対象学生	全1回生・2回生・3回生・4回生		
授業の概要	今日、世界のあらゆる社会活動はすべて有機的につながりあっているということを理解し、そのことを常に意識しながら日々の生活を営んでいける社会人を育成するための基礎的な情報を提供し、課題を検討する。政治・経済活動を中心に、教育科学・医療・情報などあらゆる分野で国家間レベルだけでなく、国境を越えた合法的、非合法的な活動が展開されていることを包括的に知ると同時に、それが自分の日々の生活とどのように関わっているのか理解することを目的とする。				
学習成果到達目標	1) 国家の成り立ち、国家を構成する社会の基本的諸側面について説明できる。 2) 国家間の有機的な連携が現代社会の諸問題への対処に不可欠なことを理解する。				
評価方法	定期試験 ( 50 % ) <input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技	平常試験 ( 50 % ) <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技			
評価基準	主たる評価の観点	<input checked="" type="checkbox"/> 知識・理解 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題発見・解決能力 <input type="checkbox"/> ( ) <input type="checkbox"/> ( )			
テキスト	なし				
参考書	『池上彰の世界の見方』『ワークショップ版世界がもし100人の村だったら』ほか適宜紹介する				
留意事項	知らないことを知ることにワクワクする人の受講を期待します 受け身ではこの授業はつらいです				
授業計画	学習項目		学習内容・課題		
第1回	イントロダクション: 国家という「想像の共同体」		(内 容) 進め方説明後、基本単位「国家」を理解する (必要な準備) シラバスを読んでおくこと		
第2回	面積や気候から世界を考える		(内 容) 面積や気候が国家に及ぼす影響を理解する (必要な準備) 国土や気候による国家間の違いを調べる		
第3回	人口や民族構成から世界を考える		(内 容) 人口構成が国家に及ぼす影響を理解する (必要な準備) 人口や民族構成による国家間の違いを調べる		
第4回	宗教から世界を考える		(内 容) 世界の宗教と考え方を理解する (必要な準備) 宗教と国家の関係を調べる		
第5回	言語から世界を考える		(内 容) 一国家多言語の国が主流であることへの理解 (必要な準備) 言語と国家、教育との関係を調べる		
第6回	政治体制から世界を考える		(内 容) おもに先進国の政治体制の違いを知る (必要な準備) 政治体制の基本を調べる		
第7回	経済のつながりから世界を考える		(内 容) 世界経済の基本的なつながりの理解 (必要な準備) 円やドルなど通貨単位、経済指標を調べる		
第8回	食品や食料自給率から世界を考える		(内 容) 固有の食からわかる国家の形 (必要な準備) 食と国(地域)との関係を調べる		
第9回	ファッショントレンドから世界を考える		(内 容) ファストファッションなどの潮流を理解 (必要な準備) 衣料の世界的トレンドについて調べる		
第10回	住まい方から世界を考える		(内 容) 日々の生活や居住空間の使い方を理解 (必要な準備) アジアと欧米の居住空間の違いを調べる		
第11回	教育(就学前教育)から世界を考える		(内 容) 就学前教育の世界的潮流を理解する (必要な準備) 幼児教育カリキュラムを調べる		
第12回	教育(初等中等教育)から世界を考える		(内 容) 教育と国家の関係を理解する (必要な準備) 世界の義務教育制度を調べる		
第13回	子どもの幸せと貧困から世界を考える		(内 容) 子どもを取り巻く世界的状況を把握する (必要な準備) 子どもの貧困問題について知る		
第14回	日本についてふりかえり		(内 容) 日本と世界とのつながりを理解する。 (必要な準備) これまでの学びと日本とのつながりを考える		
第15回	まとめ		(内 容) 授業を振り返り、今後の生き方を考える。 (必要な準備) これまでの授業を振り返り、重要なポイントを整理しておく。		
オフィスアワー	毎水曜日昼休みまたはメールにて受付				

授業名	産官学連携実践 I ua・ I ub		開講学年	1・2・3・4回生	単位数	2単位
英文名	Practice of society cooperation I		開講時期	春・秋学期	必修・選択	選択
担当者	足塚 智志		対象学生	全1回生・2回生・3回生・4回生		
授業の概要	<p>大学生として学ぶことと実社会との結びつきを低学年のうちから実感し、学びを深めると共に大学生としてのキャリア形成のスタートを図る。地域の企業や学校への関心を涵養し、進路選択の選択肢としての視野を広げることを意識する。具体的には事前学習を行い、実践体験先である企業や学校の現場に入り、現場で「仕事とは何か」「働くこととは何か」を考え、仕事をする上での必要な能力を修得することをねらいとする。そして実践体験からの気づきと課題などを整理し、今後の目標を明らかにすることを旨とする。</p> <p>講義と共にグループワークやプレゼンテーションを行う。</p>					
学習成果到達目標	<p>1) 実社会に触れることにより、学習意欲の向上をはかることができる。</p> <p>2) 社会でのコミュニケーション能力を高めることができる。</p> <p>3) 社会人に必要な基礎的な能力を身に付けることができる。</p> <p>4) 自分の将来を明確にすることができる。</p>					
評価方法	定期試験 (50%) <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技		平常試験 (50%) <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input type="checkbox"/> 口述 <input checked="" type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技			
評価基準	主たる評価の観点	<input type="checkbox"/> 知識・理解 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション能力 <input type="checkbox"/> 課題発見・解決能力 <input checkbox="" checked="" type="checkbox/&gt;(チームワーク力 ) &lt;input type="/> ( )				
テキスト	古閑博美編著『インターンシップ』学文社 2011					
参考書	受講生は自らも新聞などを読み、調べていく過程でテーマを見つけること。					
留意事項	本授業は、学びと実社会のつながりを認識しながら、学びを深めるという目的から、意欲のある学生の受講を求める。大学での事前授業・事後授業に加えて、スクールボランティアやインターンシップに主体的に参加することが単位の条件となる。					
授業計画	学習項目		学習内容・課題			
第1回	オリエンテーション		(内 容) 授業の計画・内容・注意事項等。 (必要な準備) シラバスを事前に読んでおく。			
第2回	大学と高校の学びの相違点		(内 容) 大学とは何か、高校までとの違いを考える。 (必要な準備) 自分自身の考えをまとめておく。			
第3回	産官学連携実践の意義と目的		(内 容) 大学と社会の違い、つながりを考える。産官学連携実践の意義や現状等について学ぶ。 (必要な準備) 前講の復習			
第4回	実践体験先の探し方 実践体験に向けた目的の設定		(内 容) 実践体験先の探し方、目的・実施形態・現状等について学び、実践の目的・目標について考える。 (必要な準備) 前講の復習			
第5回	ビジネスマナーの基本:挨拶と訪問、心構え		(内 容) 事前の連絡・事前の訪問・挨拶・打ち合わせ等の心構えを学び、自己紹介・挨拶の仕方等の演習を行う。 (必要な準備) 前講の復習			
第6回	企業・学校の現場を知る I		(内 容) 現場での実践 (必要な準備) 常にメモをとる。			
第7回	企業・学校の現場を知る II		(内 容) 現場での実践 (必要な準備) 常にメモをとる。			
第8回	企業・学校の現場を知る III		(内 容) 現場での実践 (必要な準備) 常にメモをとる。			
第9回	企業・学校の現場を知る IV		(内 容) 現場での実践 (必要な準備) 常にメモをとる。			
第10回	企業・学校の現場を知る V		(内 容) 現場での実践 (必要な準備) 常にメモをとる。			
第11回	企業・学校の現場を知る VI		(内 容) 現場での実践 (必要な準備) 常にメモをとる。			
第12回	企業・学校の現場を知る VII		(内 容) 現場での実践 (必要な準備) 常にメモをとる。			
第13回	実践体験の成果の振り返り		(内 容) 実践体験の成果を振り返り、経験の共有、成長点の認識などをグループで話し合う。 (必要な準備) ノート・メモの整理			

第 14 回	実践体験報告をまとめる	(内 容) 実践体験からの気づきと課題などを整理し、今後の目標を明確にするとともに、実践体験報告書をまとめ。 (必要な準備) レポートを書く準備をする
第 15 回	実践体験の報告会での発表	(内 容) 最終のまとめとして、実践体験報告会を行う。 (必要な準備) 発表の事前準備とリハーサルをしておく。
オフィス アワー	担当授業終了後に実施する	

授業名	産官学連携実践Ⅱ ua・Ⅱ ub		開講学年	2・3・4回生	単位数	2単位
英文名	Practice of society cooperation I		開講時期	春・秋学期	必修・選択	選択
担当者	渡邊 雄一		対象学生	現代家政 2 回生・3 回生・4 回生		
授業の概要	本授業では、自らキャリアを形成したいという意欲を高めるために、他者とのコミュニケーションを通じて多様な価値観を取り入れ、「社会人」として必要な資質・技能を習得していくことを目的とする。スクールボランティアやコンソーシアム京都が行うインターンシップに参加することを通して、社会で生きていくために必要な力を身に付けていく。					
学習成果到達目標	1) 自主的・主体的に行動する力を習得する。 2) 課題を発見し、解決に向け提案する力を習得する。 3) 分かりやすく書く・話す自己表現力を身に付ける。 4) 人と力を合わせて取り組むことのできるチームワーク力を身に付ける。					
評価方法	定期試験 ( 50 %) □筆記試験 □レポート □制作物 □口述 □実習 □実技		平常試験 ( 50 %) □筆記試験 □レポート □制作物 □口述 □実習 □実技			
評価基準	主たる評価の観点	□知識・理解 □( ) □コミュニケーション能力 □プレゼンテーション能力 □課題発見・解決能力 □( )				
テキスト	古関博美編著『インターンシップ』学文社 2011					
参考書	授業中に指示する。					
留意事項	学生のみなさんの自主的活動を理論と実践の両面から支援するための講座です。スクールボランティアやコンソーシアム京都が行うインターンシップなどへの積極的な参加を求めます。					
授業計画	学習項目			学習内容・課題		
第1回	ガイダンス			(内 容) 本講義の目標を理解し、学習計画を立てる。 (必要な準備)		
第2回	キャリアプランニング			(内 容) キャリアプランニングと進路決定に必要な要素とプロセス理解を深める。 (必要な準備) キャリアプランニングについて調べておくこと。		
第3回	自分の動機づけ			(内 容) 自分を動機づけてきたものは何か、言語表現で明らかにする。 (必要な準備) キャリアプランニングに必要な動機づけについて考えまとめておくこと。		
第4回	働く意味を考える			(内 容) 働く意味を考え、自分が形成したいキャリアの形を見出す。 (必要な準備) 働くことに対して自分がつイメージをまとめておく。		
第5回	産官学連携とは			(内 容) 産官学連携について捉える。 (必要な準備) 全講までの復習をしておく。		
第6回	企業・学校の現場を知る①			(内 容) 現場での実践。 (必要な準備) 実習先の事前調査を行う。		
第7回	企業・学校の現場を知る②			(内 容) 現場での実践。 (必要な準備) 実習先の事前調査を行う。		
第8回	企業・学校の現場を知る③			(内 容) 現場での実践。 (必要な準備) 実習先の事前調査を行う。		
第9回	企業・学校の現場を知る④			(内 容) 現場での実践。 (必要な準備) 実習先の事前調査を行う。		
第10回	企業・学校の現場を知る⑤			(内 容) 現場での実践。 (必要な準備) 実習先の事前調査を行う。		
第11回	企業・学校の現場を知る⑥			(内 容) 現場での実践。 (必要な準備) 実習先の事前調査を行う。		
第12回	企業・学校の現場を知る⑦			(内 容) 現場での実践。 (必要な準備) 実習先の事前調査を行う。		
第13回	資料をまとめる①			(内 容) 収集した資料を整理する。 (必要な準備) 実習で得た資料をまとめる。		
第14回	資料をまとめる②			(内 容) レポートを書く準備をする。 (必要な準備) 実習で得た資料をまとめる。		
第15回	レポートにまとめる			(内 容) レポートにまとめる。 (必要な準備) 前講までのまとめをする。		
オフィスアワー	毎週1回(休業期間中を除く。)オフィスアワーを設けます。					

授業名	TOEIC I	開講学年	2回生	単位数	1単位
英文名	TOEIC I	開講時期	春学期	必修・選択	選択
担当者	松尾 章子	対象学生	現代家政2回生		
授業の概要	TOEIC や TOEIC Bridge での得点アップを目指し、練習問題を多く解く。TOEIC、TOEIC Bridge 受験時の解答テクニックを磨き、勉強方法を知る。英語に関する弱点を見つけ克服できるよう取り組む。TOEIC400 点又は TOEIC Bridge135 点取得を目指す。				
学習成果到達目標	1) TOEIC のテスト形式に慣れ、試験受験時には問題に集中することができる。 2) Part 2 と Part 5 の問題は他の Part よりも容易に解くことができる。 3) TOEIC に関連する単語・表現を、受講開始時より 150 個多く知っている。				
評価方法	定期試験 ( 50 % ) <input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技	平常試験 ( 50 % ) <input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技			
評価基準	主たる評価の観点	<input checked="" type="checkbox"/> 知識・理解 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題発見・解決能力 <input type="checkbox"/> ( ) <input type="checkbox"/> ( )			
テキスト	『大学生のための TOEIC テスト基礎演習』 和田ゆり著 (南雲堂)				
参考書	自分のレベルに合ったテキストを購入し、語彙力やスキルアップに取り組むことを強く望む。				
留意事項	TOEIC 又は TOEIC Bridge テスト受験を強く望む (団体受験可)。				
授業計画	学習項目				
第1回	Introduction, Diagnostic Test		(内 容) 到達目標の確認、進め方の説明、学習前テスト (必要な準備) 本授業のシラバスを読む		
第2回	Unit 1 動作を表す～ing に慣れる&主語と時制の基礎		(内 容) pp. 8-13 (必要な準備) pp. 8-13 の問題を解く・単語を調べる		
第3回	Unit 2 主語と時制を手がかりにする&原形になる場合、未来の表現		(内 容) pp. 14-19 (必要な準備) pp. 14-19 の問題を解く・単語を調べる		
第4回	Unit 3 会話の場所と話している人&ビジネスレターを使って		(内 容) pp. 20-25 (必要な準備) pp. 20-25 の問題を解く・単語を調べる		
第5回	Unit 4 放送の場所と目的を聞き取る&対象者、目的、具体的内容		(内 容) pp. 26-31 (必要な準備) pp. 26-31 の問題を解く・単語を調べる		
第6回	Unit 5 位置関係を前置詞で表す&前置詞の意味と使い分け		(内 容) pp. 32-37 (必要な準備) pp. 32-37 の問題を解く・単語を調べる		
第7回	Unit 6 意味のつながりで選ぶ&前後を正しくつなげる		(内 容) pp. 38-43 (必要な準備) pp. 38-43 の問題を解く・単語を調べる		
第8回	Unit 7 電話をかけた人と用件を聞き取る&商品の広告文を使って		(内 容) pp. 44-49 (必要な準備) pp. 44-49 の問題を解く・単語を調べる		
第9回	Unit 8 相手に求める行動を聞き取る&目的、依頼内容、同義語		(内 容) pp. 50-55 (必要な準備) pp. 50-55 の問題を解く・単語を調べる		
第10回	Unit 9 写っているものの細部を聞き取る&名詞を正しく言い換える		(内 容) pp. 56-61 (必要な準備) pp. 56-61 の問題を解く・単語を調べる		
第11回	Unit 10 了承するか断るかを聞き分ける&形で見分けて正しく使う		(内 容) pp. 62-67 (必要な準備) pp. 62-67 の問題を解く・単語を調べる		
第12回	Unit 11 抱えている問題は何かをつかむ&説明書や保証書を使って		(内 容) pp. 68-73 (必要な準備) pp. 68-73 の問題を解く・単語を調べる		
第13回	Unit 12 具体的な情報を聞き取る&ダブルパッセージの読み方		(内 容) pp. 74-79 (必要な準備) pp. 74-79 の問題を解く・単語を調べる		
第14回	Practice Test		(内 容) 練習テストを解く (必要な準備) Units 1-12 を見直す		
第15回	Review Units 1-12		(内 容) 復習 (必要な準備) Units 1-12 を見直す		
オフィスアワー	月曜日 午後 2 時半～4 時半 (詳細については研究室に掲示している)				

授業名	TOEIC II	開講学年	2回生	単位数	1単位
英文名	TOEIC II	開講時期	秋学期	必修・選択	選択
担当者	松尾 章子	対象学生	現代家政2回生		
授業の概要	TOEIC や TOEIC Bridge での得点アップを目指し、練習問題を多く解く。TOEIC、TOEIC Bridge 受験時の解答テクニックを磨き、勉強方法を知る。英語に関する弱点を見つけ克服できるよう取り組む。TOEIC450 点又は TOEIC Bridge145 点取得を目指す。				
学習成果到達目標	1) TOEIC のテスト形式に慣れ、試験受験時には問題に集中することができる。 2) Parts 1, 2, 5, 6 の問題は他の Part よりも容易に解くことができる。 3) TOEIC に関連する単語・表現を、受講開始時より 150 個多く知っている。				
評価方法	定期試験 ( 50 % )	<input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技	平常試験 ( 50 % )	<input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技	
評価基準	主たる評価の観点	<input checked="" type="checkbox"/> 知識・理解 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題発見・解決能力 <input type="checkbox"/> ( ) <input type="checkbox"/> ( )			
テキスト	配布プリント他				
参考書	自分のレベルに合ったテキストを購入し、語彙力やスキルアップに取り組むことを強く望む。				
留意事項	TOEIC 又は TOEIC Bridge テストを必ず受けること (団体受験可)。				
授業計画	学習項目		学習内容・課題		
第1回	Introduction, Diagnostic Test		(内 容) 到達目標の確認、進め方の説明、学習前テスト (必要な準備) 本授業のシラバスを読む		
第2回	Part 1 写真描写問題 の解き方		(内 容) Part 1 の解き方&練習 (必要な準備) 宿題プリント 1 の問題を解く		
第3回	Part 2 応答問題 の解き方		(内 容) Part 2 の解き方&練習 (必要な準備) 宿題プリント 2 の問題を解く		
第4回	Part 3 会話問題 の解き方		(内 容) Part 3 の解き方&練習 (必要な準備) 宿題プリント 3 の問題を解く		
第5回	Part 4 説明文問題 の解き方		(内 容) Part 4 の解き方&練習 (必要な準備) 宿題プリント 4 の問題を解く		
第6回	Part 5 単文穴埋め問題 の解き方		(内 容) Part 5 の解き方&練習 (必要な準備) 宿題プリント 5 の問題を解く		
第7回	Part 6 長文穴埋め問題 の解き方		(内 容) Part 6 の解き方&練習 (必要な準備) 宿題プリント 6 の問題を解く		
第8回	Part 7 読解問題 の解き方		(内 容) Part 7 の解き方&練習 (必要な準備) 宿題プリント 7 の問題を解く		
第9回	Part 2 応答問題 の解答技術		(内 容) Part 2 の解答技術 (必要な準備) 宿題プリント 8 の問題を解く		
第10回	Part 5 単文穴埋め問題 の解答技術(品詞/前置詞/小さい接続詞/数量詞)		(内 容) Part 5 の解答技術(1) (必要な準備) 宿題プリント 9 の問題を解く		
第11回	Part 5 単文穴埋め問題 の解答技術(動詞の形/語彙/大きい接続詞/代名詞)		(内 容) Part 5 の解答技術(2) (必要な準備) 宿題プリント 10 の問題を解く		
第12回	Part 6 長文穴埋め問題 の解答技術		(内 容) Part 6 の解答技術 (必要な準備) 宿題プリント 11 の問題を解く		
第13回	Part 1 写真描写問題 の解答技術		(内 容) Part 1 の解答技術 (必要な準備) 宿題プリント 12 の問題を解く		
第14回	Practice Test		(内 容) 練習テストを解く (必要な準備) 宿題プリントの見直し		
第15回	Review		(内 容) 復習 (必要な準備) 宿題プリントの見直し		
オフィスアワー	月曜日 午後 2 時半～4 時半 (詳細については研究室に掲示している)				

授業名	中国語 I u	開講学年	2・3・4 回生	単位数	1 単位
英文名	Chinese I	開講時期	春学期	必修・選択	選択
担当者	中尾 弥継	対象学生	現代家政2回生・3回生・4回生		
授業の概要	日本に最もなじみの深い国のひとつである中国は、今後の日本にとって存在の重要性はますます増していく。本授業では文法的知識とともに、すぐに役立つ中国語を耳と口で学ぶことに重点を置き、中国人と初歩的なコミュニケーションがとれるようになることを目指す。授業は演習形式で行う。				
学習成果 到達目標	1) 正確な中国語の発音ができる。 2) 基本的な単語や文法が理解できる。 3) 自力で簡単な文章を作ったり、相手と簡単な会話を行ったりできる。				
評価方法	定期試験 ( 50 % ) <input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技	平常試験 ( 50 % ) <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input checked="" type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input checked="" type="checkbox"/> 実技			
評価基準	主たる評価の観点	<input checked="" type="checkbox"/> 知識・理解 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題発見・解決能力 <input type="checkbox"/> ( ) <input type="checkbox"/> ( )			
テキスト	『しゃべっていいとも中国語 トータル版』(陳淑梅・劉光赤著、朝日出版社)				
参考書	『プログレッシブ中国語辞典コンパクト版』(小学館)				
留意事項	前の方の席に座ること。発音する時は大きな声で。予習・復習をしっかりとやること。				
授業計画	学習項目	学習内容・課題			
第1回	科目ガイダンス「第1課」(中国語の音節、声調)	(内 容) (必要な準備)	講義の目標を理解し、学習計画を立てる。 テキストを事前に一覧しておく。		
第2回	「第2課」(単母音、複母音)	(内 容) (必要な準備)	中国語の基本的な発音を習得する。 「第1課」の復習。		
第3回	「第3課」、「第4課」(子音、鼻音)	(内 容) (必要な準備)	中国語の基本的な発音を習得する。 「第2課」の復習。		
第4回	「第5課」(姓の言い方、人称代名詞など)	(内 容) (必要な準備)	基本的な単語や文法を習得していく。 「第3課」「第4課」の復習。 「第5課」の練習問題を解く。		
第5回	「第6課」(動詞“是”、助詞“的”など)	(内 容) (必要な準備)	基本的な単語や文法を習得していく。 「第6課」の練習問題を解く。		
第6回	「第7課」(基本語順、連動文など)	(内 容) (必要な準備)	基本的な単語や文法を習得していく。 「第7課」の練習問題を解く。		
第7回	「第8課」(助動詞“想”、指示代名詞など)	(内 容) (必要な準備)	基本的な単語や文法を習得していく。 「第8課」の練習問題を解く。		
第8回	「第9課」(動詞“在”、方位詞など)	(内 容) (必要な準備)	基本的な単語や文法を習得していく。 「第9課」の練習問題を解く。		
第9回	「第10課」(数の言い方、値段のたずね方など)	(内 容) (必要な準備)	基本的な単語や文法を習得していく。 「第10課」の練習問題を解く。		
第10回	「第11課」(年月日・曜日の言い方など)	(内 容) (必要な準備)	基本的な単語や文法を習得していく。 「第11課」の練習問題を解く。		
第11回	「第12課」(量詞、動詞の重ね型など)	(内 容) (必要な準備)	基本的な単語や文法を習得していく。 「第12課」の練習問題を解く。		
第12回	「第13課」(時刻の言い方など)	(内 容) (必要な準備)	基本的な単語や文法を習得していく。 「第13課」の練習問題を解く。		
第13回	「第14課」(完了を表す助詞“了”など)	(内 容) (必要な準備)	基本的な単語や文法を習得していく。 「第14課」の練習問題を解く。		
第14回	復習①	(内 容) (必要な準備)	基本的な単語や文法を習得していく。 「第1課」から「第7課」を復習する。		
第15回	復習②	(内 容) (必要な準備)	基本的な単語や文法を習得していく。 「第8課」から「第14課」を復習する。		
オフィス アワー	担当授業終了後に実施する				

授業名	中国語Ⅱu	開講学年	2・3・4回生	単位数	1単位
英文名	ChineseⅡ	開講時期	秋学期	必修・選択	選択
担当者	中尾 弥継	対象学生	現代家政2回生・3回生・4回生		
授業の概要	中国語Ⅰに続いて本授業では、中国語を耳と口で学ぶことに重点を置き、日常生活を送るうえで中国人とやや複雑なコミュニケーションがとれるようになることを目指す。授業は演習形式で行う。				
学習成果到達目標	1) より正確な中国語の発音ができる。 2) より多くの単語や、より高度な文法が理解できる。 3) 自力で複雑な文章を作ったり、相手とより具体性のある会話を行ったりできる。				
評価方法	定期試験 (50%) <input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技	平常試験 (50%) <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input checked="" type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input checked="" type="checkbox"/> 実技			
評価基準	主たる評価の観点	<input checked="" type="checkbox"/> 知識・理解 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題発見・解決能力 <input type="checkbox"/> ( ) <input type="checkbox"/> ( )			
テキスト	『しゃべっていいとも中国語 トータル版』(陳淑梅・劉光赤著、朝日出版社) ※中国語Ⅰで購入したテキストを継続して使用				
参考書	『プログレッシブ中国語辞典コンパクト版』(小学館)				
留意事項	前の方の席に座ること。発音する時は大きな声で。予習・復習をしっかりとやること。				
授業計画	学習項目	学習内容・課題			
第1回	科目ガイダンス 中国語Ⅰの復習	(内容) 講義の目標を理解し、学習計画を立てる。 (必要な準備) 中国語Ⅰで学習した部分を復習しておく。			
第2回	「第15課」(助動詞“可以”、“能”など)	(内容) 基本的な単語や文法を習得していく。 (必要な準備) 「第15課」の練習問題を解く。			
第3回	「第16課」(助動詞“会”など)	(内容) 基本的な単語や文法を習得していく。 (必要な準備) 「第16課」の練習問題を解く。			
第4回	「第17課」(前置詞“在”、二重目的語など)	(内容) 基本的な単語や文法を習得していく。 (必要な準備) 「第17課」の練習問題を解く。			
第5回	「第18課」(選択疑問文など)	(内容) 基本的な単語や文法を習得していく。 (必要な準備) 「第18課」の練習問題を解く。			
第6回	「第19課」(助動詞“得”など)	(内容) 基本的な単語や文法を習得していく。 (必要な準備) 「第19課」の練習問題を解く。			
第7回	「第20課」(結果補語、様態補語など)	(内容) 基本的な単語や文法を習得していく。 (必要な準備) 「第20課」の練習問題を解く。			
第8回	「第21課」(比較表現など)	(内容) 基本的な単語や文法を習得していく。 (必要な準備) 「第21課」の練習問題を解く。			
第9回	「第22課」(方向補語など)	(内容) 基本的な単語や文法を習得していく。 (必要な準備) 「第22課」の練習問題を解く。			
第10回	「第23課」(“把”構文など)	(内容) 基本的な単語や文法を習得していく。 (必要な準備) 「第23課」の練習問題を解く。			
第11回	「第24課」(程度補語、可能補語など)	(内容) 基本的な単語や文法を習得していく。 (必要な準備) 「第24課」の練習問題を解く。			
第12回	「第25課」(主述語文、受け身表現など)	(内容) 基本的な単語や文法を習得していく。 (必要な準備) 「第25課」の練習問題を解く。			
第13回	「第26課」(使役表現など)	(内容) 基本的な単語や文法を習得していく。 (必要な準備) 「第26課」の練習問題を解く。			
第14回	復習①	(内容) 基本的な単語や文法を習得していく。 (必要な準備) 「第15課」から「第20課」を復習する。			
第15回	復習②	(内容) 基本的な単語や文法を習得していく。 (必要な準備) 「第21課」から「第26課」を復習する。			
オフィスアワー	担当授業終了後に実施する				

授業名	フランス語 I	開講学年	3・4 回 生	単位数	1 単位
英文名	French I	開講時期	春学期	必修・選択	選択
担当者	舟杉 真一	対象学生	現代家政3回生・4回生		
授業の概要	フランス語の初級文法を習得し、やさしい会話表現についても学んでいく。フランス語に独特の綴りと発音の関係、挨拶表現、冠詞、指示形容詞、所有形容詞、動詞の活用と表現、前置詞と定冠詞の縮約形、場所・方向の表現など、順序よく必要事項を習得させる。発音練習、文法事項の学習や確認はテキストによる演習形態の授業となる。				
学習成果到達目標	1) フランス語の綴りを読める。 2) 簡単な会話ができる。 3) ファッション用語、料理用語の由来がわかる。				
評価方法	定期試験 ( 50 % ) <input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技	平常試験 ( 50 % ) <input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技			
評価基準	主たる評価の観点	<input checked="" type="checkbox"/> 知識・理解 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題発見・解決能力 <input type="checkbox"/> ( ) <input type="checkbox"/> ( )			
テキスト	新・彼女は食いしん坊！1 朝日出版社				
参考書	随時指示する				
留意事項	出席しているだけではなく、積極的に授業に参加してください。				
授業計画	学習項目	学習内容・課題			
第1回	科目ガイダンス：フランス	(内 容) (必要な準備)	授業方針。フランスとはどんな国？ 教科書 p.2,3		
第2回	アルファベ	(内 容) (必要な準備)	アルファベと綴りのきまり 教科書 p.4,5		
第3回	パリ到着	(内 容) (必要な準備)	主語人称代名詞、動詞 ETRE 教科書 p.6,7		
第4回	Activités U1	(内 容) (必要な準備)	国籍 教科書 p.8		
第5回	Lecture U1	(内 容) (必要な準備)	パリの人々 教科書 p.9		
第6回	ホテルで	(内 容) (必要な準備)	動詞 AVOIR, 冠詞 1 教科書 p.10,11		
第7回	Activités U2	(内 容) (必要な準備)	所有 教科書 p.12		
第8回	Lecture U2	(内 容) (必要な準備)	アキコの部屋 教科書 p.13		
第9回	ランデヴァー	(内 容) (必要な準備)	第1群規則動詞、所有形容詞 教科書 p.14,15		
第10回	Activités U3	(内 容) (必要な準備)	家族 教科書 p.16		
第11回	Lecture U3	(内 容) (必要な準備)	ヴォージュ広場 教科書 p.17		
第12回	カフェで	(内 容) (必要な準備)	形容詞 教科書 p.18,19		
第13回	Activités U4	(内 容) (必要な準備)	形容詞 教科書 p.20		
第14回	Lecture U4	(内 容) (必要な準備)	ジュリアンと写真 教科書 p.21		
第15回	まとめ	(内 容) (必要な準備)	まとめ 教科書 p.2～21		
オフィスアワー	担当授業終了後およびメール				

授業名	フランス語Ⅱ	開講学年	3・4回生	単位数	1単位
英文名	FrenchⅡ	開講時期	秋学期	必修・選択	選択
担当者	舟杉 真一	対象学生	現代家政3回生・4回生		
授業の概要	フランス語Ⅰに引き続き、フランス語の基礎力完成をめざす。発音練習、文法事項の学習や確認、会話表現を用いての実演というテキストによる学習を中心とする。疑問形、数字にかかわる表現、比較表現、非人称構文、手紙表現等、順序よく必要事項を習得し、理解力を深める。フランスの歴史や文化を題材とした教材を選び、フランスの社会事情についての理解も深める。授業は演習形式で行う。				
学習成果到達目標	1) 簡単な会話ができる。 2) ファッション用語、料理用語の由来がわかる。				
評価方法	定期試験 (50%) <input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技	平常試験 (50%) <input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技			
評価基準	主たる評価の観点	<input checked="" type="checkbox"/> 知識・理解 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題発見・解決能力 <input type="checkbox"/> ( ) <input type="checkbox"/> ( )			
テキスト	新・彼女は食いしん坊！1, 藤田裕二, 朝日出版社				
参考書	随時指示する				
留意事項	出席しているだけでなく、積極的に授業に参加してください。				
授業計画	学習項目	学習内容・課題			
第1回	科目ガイダンス：パリ	(内 容) 前期の復習 (必要な準備) 教科書 p.2~21			
第2回	電話をかける	(内 容) 指示形容詞, 縮約, 強勢形 (必要な準備) 教科書 p.22,23			
第3回	Activités U5	(内 容) 近接未来, 近接過去 (必要な準備) 教科書 p.24			
第4回	Lecture U5	(内 容) マルシェ・オ・ピュス (必要な準備) 教科書 p.25			
第5回	道を尋ねる	(内 容) 疑問代名詞, 疑問副詞 (必要な準備) 教科書 p.26,27			
第6回	Activités U6	(内 容) 疑問代名詞, 疑問副詞 (必要な準備) 教科書 p.26			
第7回	Lecture U6	(内 容) ロダン美術館 (必要な準備) 教科書 p.29			
第8回	文化	(内 容) パリの中の日本 (必要な準備) 教科書 p.30,31			
第9回	買い物2	(内 容) 代名動詞 (必要な準備) 教科書 p.63			
第10回	クリスマス	(内 容) フランスのクリスマス クリスマスって何？			
第11回	買い物	(内 容) 部分冠詞, 中性代名詞 (必要な準備) 教科書 p.32,33			
第12回	Activités U6	(内 容) 部分冠詞 (必要な準備) 教科書 p.34			
第13回	Lecture U6	(内 容) ブフ・ブルギニオン (必要な準備) 教科書 p.35			
第14回	レストラン	(内 容) テーブルマナー マナーって何？			
第15回	まとめ	(内 容) まとめ (必要な準備) 復習			
オフィスアワー	担当授業終了後およびメール				

授業名	ハングル I u	開講学年	2回生	単位数	1単位
英文名	Hangul I u	開講時期	春学期	必修・選択	選択
担当者	韓 亨模	対象学生	現代家政2回生		
授業の概要	多文化が共生する今日、隣国である韓国の言葉や文字を学び、さらには韓国の文化に対する理解を深める。				
学習成果到達目標	1. ハングルの仕組みを理解し、正しく読み・書きができる。 2. 韓国語で基礎的なコミュニケーションができる。				
評価方法	定期試験 ( 70 %) <input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技	平常試験 ( 30 %) <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input checked="" type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技			
評価基準	主たる評価の観点	<input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 汎用的能力 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション能力 <input type="checkbox"/> 課題解決能力	<input checked="" type="checkbox"/> ( 積極性 ) <input type="checkbox"/> ( )		
テキスト	『基礎から学ぶ韓国語講座 初級 改訂版』 木内明 著 (国書刊行会)				
参考書	随時指示する。				
留意事項	特になし。				
授業計画	学習項目	学習内容・課題			
第1回	ガイダンス	(内 容) 講義の進め方、韓国語について、あいさつ (必要な準備)			
第2回	基礎・第2課 基本母音	(内 容) 10の基本母音、あいさつ (必要な準備) 前回の復習			
第3回	基礎・第3課 基本子音	(内 容) 平音、激音、濃音、鼻音、流音、自己紹介 (必要な準備) 前回の復習			
第4回	基礎・第4課 複合母音	(内 容) 11の複合母音、自己紹介 (必要な準備) 前回の復習			
第5回	基礎・第5課 パッチム	(内 容) 代表子音、実用表現 (必要な準備) 前回の復習			
第6回	基礎・第6課 発音の変化	(内 容) 有声音化、連音、流音化、激音化、実用表現 (必要な準備) 前回の復習			
第7回	基礎・第6課 発音の変化	(内 容) hの弱化、濃音化、口蓋音化、鼻音化、実用表現 (必要な準備) 前回の復習			
第8回	復習	(内 容) 文字 (ハングル) と発音のまとめ (必要な準備) これまでの復習			
第9回	第1課 私は浅井ゆかりです	(内 容) ～は / ～です (必要な準備) これまでの復習			
第10回	第2課 出身はソウルですか	(内 容) ～が / ～ですか (必要な準備) 前回の復習			
第11回	第3課 図書館ではありません	(内 容) ～ではありません / ～ではありませんか (必要な準備) 前回の復習			
第12回	第4課 時間がありますか	(内 容) います・あります / いません・ありません (必要な準備) 前回の復習			
第13回	第5課 インターネットをします	(内 容) します・しますか / 何 (必要な準備) 前回の復習			
第14回	第6課 貿易会社で働いています	(内 容) (打ちとけた) します・しますか/います・いません (必要な準備) 前回の復習			
第15回	まとめ	(内 容) 春学期のまとめ (必要な準備) これまでの復習			
オフィスアワー	担当授業終了後に実施する				

授業名	ハングルⅡu	開講学年	2回生	単位数	1単位
英文名	HangulⅡu	開講時期	秋学期	必修・選択	選択
担当者	韓 亨模	対象学生	現代家政2回生		
授業の概要	多文化が共生する今日、隣国である韓国の言葉や文字を学び、さらには韓国の文化に対する理解を深める。				
学習成果到達目標	1. ハングルの仕組みを理解し、正しく読み・書きができることに加え、韓国語で基礎的なコミュニケーションができる。				
評価方法	定期試験 ( 70 % )	<input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技	平常試験 ( 30 % )	<input type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input checked="" type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技	
評価基準	主たる評価の観点	<input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 汎用的能力 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション能力 <input type="checkbox"/> 課題解決能力 <input checked="" type="checkbox"/> ( 積極性 ) <input type="checkbox"/> ( )			
テキスト	『基礎から学ぶ韓国語講座 初級 改訂版』 木内明 著 (国書刊行会)				
参考書	随時指示する。				
留意事項	ハングルが読めることが望ましい。				
授業計画	学習項目		学習内容・課題		
第1回	ガイダンス		(内 容) 講義の説明、あいさつ、自己紹介、実用表現 (必要な準備)		
第2回	第7課 東大門市場に行きます		(内 容) (かしこまった) です・ます (必要な準備) 前回の復習		
第3回	第8課 しょっちゅうスーパーで買います		(内 容) ヨ体、(打ちとけた) 丁寧 / ～しに (必要な準備) 前回の復習		
第4回	第8課 しょっちゅうスーパーで買います		(内 容) 母音の縮約 / 変則用言の丁寧形 (必要な準備) 前回の復習		
第5回	第9課 それは1万ウォンです		(内 容) 漢数詞 (必要な準備) 前回の復習		
第6回	第10課 今、何時ですか		(内 容) 時間 (必要な準備) 前回の復習		
第7回	第10課 今、何時ですか		(内 容) 固有数詞、助数詞 (必要な準備) 前回の復習		
第8回	第11課 日本語を話されますか		(内 容) 尊敬語 (必要な準備) 前回の復習		
第9回	第12課 そんなに遠くありません		(内 容) 用言の否定 (必要な準備) 前回の復習		
第10回	第12課 そんなに遠くありません		(内 容) ～するといいです (必要な準備) 前回の復習		
第11回	復習		(内 容) 敬語(丁寧語・尊敬語)の復習 (必要な準備) これまでの復習		
第12回	第13課 いつ韓国に来ましたか		(内 容) 過去形 (必要な準備) これまでの復習		
第13回	第13課 いつ韓国に来ましたか		(内 容) 変則用言の過去形 (必要な準備) 前回の復習		
第14回	第14課 民俗村に一緒に行きましょう		(内 容) 勧誘の表現(～しましょう / ～しよう) (必要な準備) 前回の復習		
第15回	まとめ		(内 容) 秋学期のまとめ (必要な準備) これまでの復習		
オフィスアワー	担当授業終了後に実施する				

授業名	健康スポーツ科学Ⅲ	開講学年	2回生	単位数	1単位
英文名	Health and Sports ScienceⅢ	開講時期	秋学期	必修・選択	選択
担当者	山本 武司	対象学生	現代家政2回生		
授業の概要	健康スポーツ科学Ⅰ・Ⅱで学んだ基礎知識を基に、その応用として生涯に亘るスポーツ活動と健康活動を実現できるように積極的にスポーツ活動を実践する。本授業での実施種目はバレーボールとバドミントンで試合を中心に授業を展開する。				
学習成果到達目標	バレーボール、バドミントンを通して生涯に亘り積極的にスポーツを楽しむことができる理論と技術を身につける。				
評価方法	定期試験 ( 50 %) <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input checked="" type="checkbox"/> 実技		平常試験 ( 50 %) <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input checked="" type="checkbox"/> 実技		
評価基準	主たる評価の観点	<input type="checkbox"/> 知識・理解 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション能力 <input type="checkbox"/> 課題発見・解決能力 <input "="" 5"="" checked="" type="checkbox/&gt;( 健康への理解 )&lt;/td&gt; &lt;/tr&gt; &lt;tr&gt; &lt;td&gt;テキスト&lt;/td&gt; &lt;td colspan="/> プリントを配布する。			
参考書	随時紹介する。				
留意事項	運動にふさわしい服装と上履きを用意すること。				
授業計画	学習項目	学習内容・課題			
第1回	はじめに	(内 容) 本講に関するオリエンテーション (必要な準備)			
第2回	バレーボール・バドミントン1	(内 容) 基本練習、試合 (必要な準備) ルールを調べる			
第3回	バレーボール・バドミントン2	(内 容) 基本練習、試合 (必要な準備) 戦術を調べる			
第4回	バレーボール・バドミントン3	(内 容) 試合 (必要な準備) 戦術を調べる			
第5回	バレーボール・バドミントン4	(内 容) 試合 (必要な準備) 戦術を調べる			
第6回	バレーボール・バドミントン5	(内 容) 試合 (必要な準備) 戦術を調べる			
第7回	バレーボール・バドミントン6	(内 容) 試合 (必要な準備) 戦術を調べる			
第8回	バレーボール・バドミントン7	(内 容) 試合 (必要な準備) 戦術を調べる			
第9回	バレーボール・バドミントン8	(内 容) 試合 (必要な準備) 戦術を調べる			
第10回	バレーボール・バドミントン9	(内 容) 試合 (必要な準備) 戦術を調べる			
第11回	バレーボール・バドミントン10	(内 容) 試合 (必要な準備) 戦術を調べる			
第12回	バレーボール・バドミントン11	(内 容) 試合 (必要な準備) 戦術を調べる			
第13回	バレーボール・バドミントン12	(内 容) 試合 (必要な準備) 戦術を調べる			
第14回	バレーボール・バドミントン13	(内 容) 試合 (必要な準備) 戦術を調べる			
第15回	バレーボール・バドミントン14	(内 容) 試合 (必要な準備) 戦術を調べる			
オフィスアワー	金曜日 12:10~13:00 (体育準備室)				